令和４年度
事　業　報　告　書

目　　次

１、情勢と総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁
２、令和４年度の特徴（重点テーマの振り返り）・・・・・・・・・・　２頁
３、社会福祉法人の運営・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３頁
４、社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業・・・・・・・・・　６頁
５、介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業・・・・・・・１５頁
６、公益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
７、収益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１頁
８、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２頁
９、資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７頁

社会福祉法人　飯豊町社会福祉協議会

1　情勢と総括

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯などが増加するとともに、家庭環境や地縁・血縁などの共同体の機能がぜい弱化するなど、地域での課題解決が難しくなっていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済活動だけでなく身近な地域での福祉活動にも様々な変化が見られました。

そのような中、本会は「コロナ禍で生活が苦しい世帯の支えになること」を重点テーマに掲げ、フードバンクによる「食」の支援を効果的かつ継続的に行うことによって、社会的孤立状態を生まないよう「つながり続けること」を目的とした伴走型支援を実践してきました。

「在宅高齢者の日常生活に関する実態調査」においては、暮らしの問題だけでなく、これまでの「高齢者像」や「ライフスタイル」に関する社会通念や意識の変化をとらえ、今後、高齢者がいきいきと活躍できる環境づくりを進めていく上でも貴重な調査結果を得ることができました。

また、令和４年８月３日に発生した大雨災害において、同月５日に本会として初めて災害ボランティアセンターを設置し、被災された町民に対して延べ629名のボランティアが県内から駆け付け、家屋の原状復帰に向けて、泥の片付けや使用できなくなった家具の排出など生活復旧支援にあたりました。

県内の市町村社協の皆様をはじめ、民生委員及び赤十字奉仕団などの関係機関の方々から多大なるご支援とご協力をいただきながら延べ16日間にわたる運営を通して「ボランティア」の持つ魅力、そして重要性をあらためて痛感いたしました。

介護事業所の経営においては、近年の社会情勢の激変に伴い事業収入は減少化傾向であり、更にコロナ禍の影響により非常に苦しい状況が続き、平成12年４月から開業してきた「ショートステイ」は６月をもって閉所させていただきました。

令和４年７月からは、宿泊サービスをオプション化し、デイサービスの魅力アップに取り組む中で、稼働率は徐々に増加に転じて来たものの、電気料金などのコストの上昇に加え、介護職員の高齢化や人員不足が地域全体の大きな課題として浮き彫りになってきました。

介護部門に関しては、令和５年３月に設置された「介護事業経営検討委員会（委員長田林義則氏）」を軸に、社協と介護保険を巡る地域の実情や社会的背景を踏まえ、将来的にサービスとして成り立つ事業の範囲及び施設の利活用について集中的に議論が図られることになりました。

終わりに、水害によって被災された方々が一日も早く以前のような日常に戻ることができるよう、出来るだけでの支援を続けながら、これからもボランティアや福祉関係団体等と一体となって、美しい飯豊の風景、人びとの暮らしを蘇らせるために邁進していくことを誓い総括とさせて頂きます。

以下、令和４年度に実施した活動内容、事業別の業績について主に予算区分ごとに取りまとめ、報告します。

2　令和４年度の特徴　-重点テーマの振り返り-

【8月3日の大雨に伴い災害ボランティアセンターを立ち上げ被災者の支援にあたりました】

令和4年8月3日に発生した記録的な大雨により、町内でも家屋の崩壊や浸水、田畑への土砂侵入等、羽越水害以来の悲痛な事態となりました。町社協では、翌日から被害状況の確認を行い、5日付けで飯豊町災害ボランティアセンターをはじめて立ち上げました。

9月15日の閉所に至るまでの間、延べ629名の方々が町内外から駆け付け泥かきや家屋の清掃などの活動に尽力いただきました。また、多くの企業、団体の皆様のご協力によって、被災されたご家庭の復旧復興における初期段階のサポートを集中的に実施することが出来ました。

【短期入所生活介護（ショートステイ）を６月に廃止しデイサービスの機能充実を図りました】

ショートステイを令和４年６月をもって廃止し、７月からは、デイサービスとして日曜日営業、宿泊サービスの受け入れが開始されました。

また、イベントや食事メニューもリニューアルされ、コロナに負けない魅力づくりを進めてきました。社協のデイサービスとして、他の事業所にない特徴や福祉の里めざみならではのサービスを確立していくための取り組みも令和５年３月より開始されています。

【コロナ禍を受け「在宅高齢者の日常生活に関する実態調査」に取り組みました】

コロナ後における在宅高齢者の住まい、食事、入浴等の衣食住をはじめ、家事、外出等の状況、日常的楽しみ、福祉サービスの情報に関する満足度など、高齢者の日常生活全般の意識を把握し、今後の高齢者に関する福祉施策及び活動の推進に資することを目的とした調査研究を行いました。

災害ボランティアセンターの対応により当初の予定より遅れての着手となりましたが、何とか年度内に集計を終えることが出来ました。

＜重点テーマの振り返り＞

項目別	重点テーマ（目標）	振り返り（評価）
地域福祉事業	▼法人内外の連携を強化し、地域共生社会の基盤づくりに貢献します。 ▼「福祉総合相談窓口」機能の強化を図りながら、住民が抱える一つひとつの生活課題を解決できる地域づくりを目指します。	□災害ボランティアセンターの運営を通じて外部との連携強化が図られボランティアに対する町民の理解が高まりました。 □民生委員や地区公民館等からのつなぎが増えており、心配な世帯に関する地域内での「気づき」や「支える」力も強まってきました。
介護事業	▼社協ならではの介護サービスを提供し、あらゆる変化に対応できる提供体制づくりに取り組みます。 ［介護保険サービスの目標値］ ・ケアマネジメント　121 人（月平均） ・ホームヘルプ　230 件（月平均） ・地域密着型デイサービス　51.6%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　65.0%（利用率） ・ショートステイ　42.5%（利用率） ［障害福祉サービスの目標値］ ・ホームヘルプ　73 件（月平均）	□7 月の「ふれあい介護支援室」の改革により、サービスの充実化が図られ、目標達成に向けた意識の向上が見られました。 ［介護保険サービスの業績］ ・ケアマネジメント　123.2 人（月平均） ・ホームヘルプ　387.3 件（月平均） ・地域密着型デイサービス　63.0%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　55.4%（利用率） ・ショートステイ　37.5%（利用率） ［障害福祉サービスの業績］ ・ホームヘルプ　94.7 件（月平均）
その他（運営全般）	▼「集まる」から「訪問する」など、コロナ禍においてもストップしない福祉活動の在り方について検討します。	□新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが「今できること」を創意工夫しながら実施していきました。「在宅高齢者の日常生活における実態調査」を通じて、孤立しがちな高齢者へのアウトリーチを実践しました。

３ 社会福祉法人の運営・管理　【社会福祉拠点】

（１）理 事 会 （定数：９名以上１１名以内）　４回開催

第２５８回　令和４年　６月　９日開催／出席理事（現数９名中）９名、監事２名出席	
報告第１号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第39号	令和４年度収支補正予算（第１号）の同意について
議案第40号	令和３年度事業報告の承認について
議案第41号	令和３年度収支決算の承認について
議案第42号	役員候補者の推薦について
議案第43号	令和４年度第１回評議員会（定時評議員会）の招集について
第２５９回　令和４年　６月２４日開催／出席理事（現数１１名中）１０名、監事２名出席	
議案第44号	副会長及び常務理事の選定について （副会長/髙橋弘之氏就任、常務理事/伊藤満世子氏就任）
第２６０回　令和４年１０月１３日開催／出席理事（現数１１名中）１０名、監事２名出席	
報告第１号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第45号	定款の一部変更について
議案第46号	経理規程の一部改正について
議案第47号	災害救済金交付規程の一部改正について
議案第48号	令和４年度収支補正予算（第２号）の同意について
議案第49号	評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第50号	令和４年度第２回評議員会の招集について
第２６１回　令和５年　３月２２日開催／出席理事（現数１１名中）１０名、監事２名出席	
報告第１号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第51号	就業規則の一部改正について(労務管理の適正化)
議案第52号	職員給与規程の一部改正について（事務局職員給料表、勤勉手当の支給率改定）
議案第53号	社会福祉施設人事制度運用規程の一部改正について(施設職員給料表、賃金表見直し)
議案第54号	臨時職員就業規則の一部改正について（賃金表見直し）
議案第55号	デマンド交通事業運営規程の一部改正について（運行委員定数削減）
議案第56号	福祉有償運送事業運営規程の一部改正について（旅客の範囲及び料金）
議案第57号	車両運行管理規程の設定について
議案第58号	介護事業経営検討委員会設置要綱の設置について
議案第59号	令和４年度収支補正予算（第３号）の同意について
議案第60号	自然災害発生時における業務継続計画の承認について
議案第61号	令和５年度事業計画（案）の同意について
議案第62号	令和５年度収支予算（案）の同意について
議案第63号	役員等賠償責任保険への加入について
議案第64号	令和４年度第３回評議員会の招集について

（２）評議員会 （定数：１０名以上１５名以内）　３回開催

第1回《定時評議員会》　令和４年　６月２４日開催／出席評議員（現数13名中）13名及び伊藤会長、菅野副会長、須貝・舟山監事出席	
議案第１号	令和４年度収支補正予算（第１号）の承認について
議案第２号	令和３年度事業報告の承認について
議案第３号	令和３年度収支決算の承認について
議案第４号	役員の選任について
第２回　令和４年１０月２１日開催／出席評議員（現数13名中）13名及び伊藤会長、菅野・髙橋副会長、須貝・舟山監事出席	
議案第５号	定款の一部変更について
議案第６号	令和４年度収支補正予算（第２号）の承認について
第３回　令和５年　３月３０日開催／出席評議員（現数13名中）12名及び伊藤会長、菅野・髙橋副会長、伊藤常務理事、須貝・舟山監事出席	
議案第７号	令和４年度収支補正予算（第３号）の承認について
議案第８号	令和５年度事業計画（案）の承認について
議案第９号	令和５年度収支予算（案）の承認について

（３）評議員選任・解任委員会（監事2名・外部委員2名・事務局員1名）

招集なし	

（４）監事監査（定数：２名）

令和　４年　５月３０日	決算定例監査（令和３年度下半期業務執行状況の監査） 監事２名、伊藤会長立会（福祉の里めざみ相談室）
令和　４年１２月　２日	中間定例監査（令和４年度上半期業務執行状況の監査） 監事２名、伊藤会長、菅野副会長立会（福祉の里めざみ相談室）

（５）その他（法人運営全般・社会福祉施設の管理に関すること）

項　　目	内　　容

1 地域福祉推進委員会の開催

小地域における福祉活動の推進及び社協活動の円滑化を図るため、各集落に地域福祉推進委員を委嘱し、連絡機能の充実と新たな地域課題に関し情報交換を行いました。

（1）委員会開催状況

地　区	開催日	時　間	場　所
①中部、白椿、東部及び西部地区	７月　１日（金）	午後７時～	町民総合センター「あ～す」多目的ﾎｰﾙ
②中津川地区	７月　４日（月）	午後７時～	中津川地区公民館

2 地域福祉を推進するための財源確保

社協会費は普通会費（世帯 1,700 円）、賛助会費(2,000 円以上)となり、地域福祉事業を支える財源としてそれぞれご協力を頂きました。

（1）社会福祉協議会住民会費協力状況（世帯会費１７口）

項　目	31（元）年度	2年度	3年度	4年度
①金額	3,411,900円	3,375,800円	3,350,700円	3,315,000円
②戸数	2,007件	1,986件	1,971件	1,950件

（2）社会福祉協議会賛助会費協力状況

２６個人　７団体／　１２４，０００円（前年同額）

種　　類	件　数	金　額
①理事・監事【各 30 口】	12 名	３７,０００円
②評議員　【各 20 口】	12 名	２４,０００円
③歴代正副会長（2 名）、副町長、教育長	4 名	１２,０００円
④関係機関団体、交通安全協会 3 支部、役場管理職会	7 団体	５１,０００円

（3）社会福祉基金（社会福祉事業）への寄付の状況

１４件／　８９１,０３４円　（前年比６０８,８４７円増）

寄附者（団体）名簿（順不同）			
①渡部みゑ子様（中津川）	10,000 円	⑧（社福）桶川市社会福祉協議会様【災害支援】	36,866 円
②チーム置賜様【災害支援】	30,000 円	⑨飯豊町立手ノ子小学校様	30,600 円
③㈱アイシステムビズ様【災害支援】	5,000 円	⑩NTT 東日本山形ｸﾞﾙｰﾌﾟ社会貢献推進会議【災害支援】	168,584 円
④中川智明様（山形市）【災害支援】	100,000 円	⑪㈱NTT-ME 山形【災害支援】	14,000 円
⑤中善寺善三様（中津川）【災害支援】	20,000 円	⑫㈱NTT 東日本東北山形支店【災害支援】	118,804 円
⑥サンサービス様（鶴岡市）【災害支援】	21,400 円	⑬㈱NTT 東本サービス山形【災害支援】	34,200 円
⑦(一社)山形県労働者福祉協議会様【災害支援】	300,000 円	⑭㈱NTT 東日本南関東営業支援【災害支援】	1,580 円

（4）介護事業財政調整基金（社会福祉事業）への寄付の状況

０件／　０円　（前年比１５０,０００円減）

3 基金造成及び資産管理

社会福祉基金をはじめ、それぞれの基金の役割がより適正で明確なものになるよう基金管理に努めてきました。

（1）社会福祉基金運用状況調　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	４４,０５７,１７２円	①当年度処分（取崩額）	６,０００,０００円
②本部会計から繰入(寄附金)	８９１,０３４円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
③当年度利子繰入	８８１円		
合計	４４,９４９,０８７円	合計	６,０００,０００円

差引残額　３８,９４９,０８７円（次年度繰越）

(2) 介護事業財政調整基金運用状況調　　（令和５年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高 ②本部会計から繰入(介護予防施設) ②本部会計から繰入(寄附金) ③当年度利子繰入	８６,８３２,６８３円 １,１６０,０００円 ０円 ７４３円	①当年度処分額 （取崩額） ②社会福祉事業区分 による会計へ支出（利子等）	２５,０００,０００円 ０円
合計	８７,９９３,４２６円	合計	２５,０００,０００円

差引残額　　６２，９９３，４２６円（次年度繰越）

(3) 職員資格取得研修等支援基金運用状況調　（令和５年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高 ②当年度他会計からの繰入 ③当年度利子繰入	６,１５３,１７７円 ０円 １２３円	①当年度処分（取崩額） ②社会福祉事業区分 による会計へ支出（利子等）	０円 （資格取得助成、研修費用） ０円
合計	６,１５３,１７７円	合計	０円

差引残額　　６，１５３，３００円（次年度繰越）

(4) ボランティア活動振興基金運用状況調（令和５年３月 31 日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高 ②当年度他会計からの繰入 ③当年度利子繰入	０円 ５,０００,０００円 ０円	①当年度処分（取崩額） ②社会福祉事業区分 による会計へ支出（利子等）	０円 ０円
合計	５,０００,０００円	合計	０円

差引残額　　５,０００,０００円（次年度繰越）

(5) 固定資産取得積立基金運用状況調（令和５年３月 31 日現在）　　残高０円

4 社協・介護サービス経営改善の取り組み

介護事業所ごとに毎月目標数値を掲げ、達成状況について全体で共有していくため月１回定例による「施設運営会議」を開催し、施設の経営改善を進めてきたほか、令和４年３月に設置された「介護事業経営検討委員会」を中心に、町の介護保険施策における社協の役割に関して集中的に議論を深めてきました。

(1) 具体的な会議

①施設運営会議（１２回）　　②プロジェクト委員会（３回）

(2) 介護事業経営検討委員会（会長諮問機関）

第１回会議	日時	令和５年３月２２日（水）13:30～16:00
	場所	福祉の里めざみ
	内容	介護事業に関する本町及び町社協の置かれている現状 報告書作成までのスケジュールについて　等
構成員		【委員】◎委員長　○副委員長 （理事又は監事）○髙橋　弘之　　鈴木　廣志　　須貝　周一 （関係行政機関）　伊藤　満世子 （介護保険運営委員会の代表）◎田林　義則 （学識経験者）　　奥山　伸広　　樋口　愛子 【アドバイザー】　伊藤　順哉（株式会社つるかめ代表取締役社長） 平山万貴子（置賜総合支庁地域保健福祉課地域福祉専門員）

5 在宅複合型老人福祉施設の運営

社会福祉協議会が運営する介護事業所として、その特性に沿った「地域から選ばれる事業所」を継続していくために、心地よい、かつ安心してご利用いただけるようサービスの提供に努めました。

(1) 資格取得者の状況及び介護職員の配置状況（令和５年３月 31 日現在）

資格者	有資格者数
看護師	２名
主任介護支援専門員	２名
介護支援専門員	７名
社会福祉士	０名
介護福祉士	２３名
社会福祉主事	１５名
栄養士	１名

事業所別	正規	非正規		合計（前年比）
		常勤	短時間	
居宅介護支援	３	０	０	３（　０）
訪問介護	３	１	３	７（＋２）
通所介護	１０	２	１５	２７（＋１）
（短期入所生活介護）	０	０	０	０（－９）
看護職員	（１）	（０）	（１）	（２）（－１）
調理職員	（１）	（０）	（４）	（５）（　０）
合計	１６	３	１８	３７（－７）

	（－1）	（－1）	（－5）		

(2) 施設の年間行事等　※施設長除く

月別	行事内容	月別	行事内容
10 月	紅葉狩り/長井方面（上旬）	1 月	だんご飾り（15 日）
	公共施設合同防災訓練（27 日）	2 月	節分（3 日）
12 月	お楽しみビンゴ大会（30 日）	3 月	ひな祭り（3 日）

(3) 固定資産取得等の状況（備品は購入価格 10 万円を超えるもの）

事業名	時期	金額(円)	備考
①ガス式乾燥機	7 月	1,474,000	町費費補助（1,474 千円）

(4) 職員専門委員会

①研修委員会（２回）　②リスクマネジメント委員会（６回）
③防災対策・安全点検委員会（２回）　④サービス向上委員会（４回）
⑤衛生委員会（３回）　⑥虐待防止・身体拘束適正化委員会（２回）

(5) 新型コロナウイルスの感染防止対策

【職　員】
①出勤前に自宅にて検温を実施し、37.5℃以上の場合は出勤停止とする。
②出勤時や訪問等から戻った際は速やかにうがい及び手指消毒を徹底する。

【施　設】
①更衣室、トイレ、ドアノブ等をこまめに消毒する。
②利用者の間隔を空け、机に透明なパーテーションを設置し飛沫を防止する。
③室内の温度や湿度を調整しながら常に換気を行う。
④利用者への面会を制限し、相談等で来所された方には、手指消毒と検温を行い、来訪者記録簿に記入を求める。

(6) ８月３日大雨に伴う要援護者等の緊急対応（ケアプラン以外）

①災害時要援護者の避難受け入れ　延べ８７名（実人数１３名）
②一般住民の避難受け入れ　延べ１８名（実人数　５名）

6 ホームページ管理・更新	社会福祉法人制度改革に対応した法人情報開示のために、ホームページをリニューアルし、また、インターネットを活用した外部への積極的な情報発信に努めるためフェイスブックとの連携も図りました。

4 社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業【社会福祉拠点】

（1）住民の福祉と地域福祉の推進に関する事業（法人運営事業）所管:総合福祉管理室

項　目	内　容
1 福祉総合相談窓口設置事業 心配ごと相談事業 ［定例相談］ 毎月第３金曜日 （午後1時～3時まで） 場　所:社協相談室	□事業概要:多様かつ複合的な課題を抱える町民からの相談窓口を明確化し、個々の相談に対し分野横断的に関係機関と連携しながら、課題の解決に向けた包括的・継続的支援を行うため、生活困窮者自立相談事業担当２名が相談支援員として従事してきました。なお、既存の生活困窮者支援事業による相談では、経済的困窮が基本となるが対象者の属性を限定せずに多様な相談をまるごと受け止め、たらい回しにしない対応に努めました。 □業務内容： (1) 常設型の相談窓口（月曜日から金曜日（祝日を除く） 午前8時 30 分から午後5時まで） (2) 定例相談「心配ごと相談」（毎月第3金曜日　午後1時から3時まで）

□利用実績　※心配ごと相談含み

相談者（件）数	２３件（内65歳以上１４件）
相談内容（重複有） 病気や健康・障害のこと	５件
住まいについて	３件
お金に関すること（債務、支払い、家計等）	１７件
地域や家族に関すること	４件
仕事に関すること	３件
介護に関すること	５件
食べるものがない	１件
その他（ひきこもり、子育て、離婚等）	８件

紹介機関	本人		１４件	民生委員	３件
	家族・親戚		１件	ホームヘルパー	０件
	役場関係課		２件	ケアマネジャー	１件
	地域住民		１件	その他関係機関	１件
処理対応	直接支援	継続中	０件	社協内他事業へつなぎ	４件
		終　了	１件	他制度・他機関へつなぎ	４件
	情報提供・相談対応のみで終了		１０件	支援開始前に中断	４件

(3) その他の相談機関との連携

①地域包括支援センター及び民生委員等との連携（ケース会議　１回）

②山形県地域包括ケア総合推進センター移動法律相談　（９月８日／社協相談室）２件

③山形県弁護士会災害対策委員会無料法律相談

（１０月２９日／社協相談室）１件

2 生活福祉資金貸付事業

（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

４年度は、相談件数及び申請件数は、昨年度と比較して大幅に減少しました。

(1) 貸付状況　（過去４年比較）　※新型コロナ関連施策

年　度		31（元）年度	2年度	3年度	4年度
相談件数※電話含		２６件	３４件	７０件	１６件
貸付件数（申請）		1件 (1件)	12件 (13件)	8件 (8件)	0件 (1件)
通常	教育支援資金	１件	５件	０件	０件
	福祉資金（緊急小口除）	０件	１件	１件	１件
	緊急小口資金	０件	１件	０件	０件
	総合支援資金	０件	１件	０件	０件
コロナ特例	緊急小口資金特例貸付※	－	４件	３件	０件
	総合支援資金特例貸付※	－	０件	４件	０件
年度内貸付決定額		5,156千円	11,300千円	5,350千円	０円

(2) 年度内貸付決定世帯の状況（低所得世帯　０件）

(3) 借受件数　４１件（令和5年3月31日現在）

①貸付期間中　７件　②償還期間中　３４件　③償還猶予期間中　０件

3 臨時特例つなぎ資金貸付事業

（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、生活費を迅速に貸付けする制度については、貸付実績はありませんでした。

4 福祉更生資金貸付事業

貸付限度額：6万円以内
貸付期間：12ヶ月以内
（無利子・保証人不要）

新型コロナウイルス感染症の影響というより物価上昇によりエンゲル係数が高まり、光熱費や携帯電話料金が支払えない等といったケースが多く見られています。４年度は、政府による非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給等が措置されたことも関連し当該小口貸付の相談は増えておりません。

(1) 貸付状況（過去４年比較）

年　度	31（元）年度	2年度	3年度	4年度
①貸付件数	１４件	１８件	１０件	８件
内単身高齢者	６件	３件	２件	３件
内ひとり親世帯	１件	４件	２件	１件
②年度内貸付決定金額	478,000円	654,000円	375,000円	381,000円

(2) 不良債権の状況（令和５年３月31日現在）

１年以上償還が滞っているケース	件数	金　額	長期滞納者への対応
	７件	２６３，１００円	支払督促及び個別指導（随時）

(3) 資金管理状況

①令和４年度内不能欠損額　０円

②令和４年３月３１日現在の資金原資額　１，５６０，０３４円（前期繰越金）

③令和５年３月３１日現在の資金原資額　１，５６０，０３４円（②－①）

④貸出金総額（令和５年３月３１日現在）　６３１，１００円（前年比３４，０００円増）

⑤令和５年３月３１日現在の預金残高　９２８，９３４円　（③－④）

5 フードサポート事業

（山形県生活困窮者等食料品提供活動支援事業費補助金）

「生活費がない」「食べるものがない」等の困窮状態にある方に対し、緊急支援として無償で食料提供を行うフードバンクの利用件数は、昨年度に引き続き 100件を超え継続的な支援を必要とする世帯が増加しました。

また、特定非営利活動法人ほっと（理事長　髙橋エミ）との間で、休日等、社会福祉協議会に来所が無くても食の支援が出来るようにするためのサテライト窓

口としての業務委託を行い、多くの困窮世帯に支援が行き届くように地域密着型の食料支援体制を確立することができました。

(1) 食料品の寄付の受け入れ状況　　４０件（前年比９件増）

個　人	寄付のあった日	食品の種類
工藤　桃子様（　椿　）	令和４年５月 19 日	乾麺、お菓子　等
匿名希望　様（高　峰）	令和４年　５月 31 日	精米　30kg
匿名希望　様（萩　生）	令和４年　６月 24 日	おかゆ　等
井上　慶次様（　椿　）	令和４年　６月 30 日	玄米　30kg
佐藤　智子様（　中　）	令和４年　７月 11 日	おかゆ、ごはん　等
伊藤キミ子様（中津川）	令和４年　７月 13 日	玄米、油、乾物　等
伊藤　清一様（中津川）	令和４年　７月 19 日	玄米
匿名希望　様（手ノ子）	令和４年　７月 21 日	缶詰、カレー、ペットボトル
伊藤浩一郎様（中津川）	令和４年　７月 22 日	お茶、調味料、海苔
伊藤　佐市様（　椿　）	令和４年　７月 22 日	カップラーメン
匿名希望　様（手ノ子）	令和４年　８月　１日	玄米　30 kg
伊藤浩一郎様（中津川）	令和４年　８月　３日	ペットボトル、サイダー　等
匿名希望　様（添　川）	令和４年　８月　９日	そば、お菓子、ラーメン
宇山　正泰様（東京都）	令和４年　８月 16 日	清涼飲料水 300 本
關川　豊章様（　椿　）	令和４年　８月 16 日	カップラーメン 24 個
匿名希望　様（萩　生）	令和４年　８月 27 日	乳幼児用食品　２箱
匿名希望　様（高　峰）	令和４年　９月　５日	ソース缶（４缶）
渡辺　亨　様（長井市）	令和４年 10 月　３日	飲料水 24 本入/1 箱
匿名希望　様（長井市）	令和４年 10 月　５日	調味料、手作りニット帽
匿名希望　様（　椿　）	令和４年 10 月　７日	玄米
手塚　正樹様（萩　生）	令和４年 10 月 24 日	コーヒー
關川　豊章様（　椿　）	令和４年 11 月 15 日	玄米
伊藤　榮造　（高　峰）	令和４年 11 月 16 日	玄米　30kg
長沼　文明様（　椿　）	令和４年 11 月 30 日	玄米　30kg
齋藤　　隆様（長井市）	令和４年 11 月 30 日	インスタントラーメン
匿名希望　様（手ノ子）	令和４年 12 月　６日	玄米　30 kg
匿名希望　様（　椿　）	令和４年 12 月　８日	油、のり
匿名希望　様（　中　）	令和４年 12 月　８日	煎茶
匿名希望　様（　中　）	令和４年 12 月 15 日	玄米　30kg
關川　順子 様（　椿　）	令和４年 12 月 20 日	さば缶　24 個
伊藤 浩一郎様（中津川）	令和４年 12 月 26 日	もち米　17kg
山口　俊英様（松　原）	令和５年　１月 12 日	お茶、コーヒー
手塚　房夫様（黒　沢）	令和５年　１月 17 日	乾麺、缶詰め
佐藤　恵巳様（萩　生）	令和５年　１月 16 日	調味料、食品
齋藤　　隆様（長井市）	令和５年　３月 29 日	防災食
団体・企業等	寄付のあった日	
株式会社デンソー山形　様	令和４年　９月 21 日	カップ麺、日用品等
山形県総合コロニー希望が丘 様	令和４年 12 月 12 日	缶詰、菓子類　等
農業法人 沖のカモメ　様	令和４年 12 月 26 日	玄米　等
匿名希望　　様	令和４年 12 月 19 日	菓子類、缶詰
いいで福祉会　様	令和５年　３月 31 日	玄米　等

(2) 食料品提供の支援状況

年　　度	31（元）年度	２年度	３年度	４年度
①延利用件数	１９件	５７件	１５４件	１１２件
内宅配提供	－	１２件	６件	６２件
②年度内利用世帯数	１３件	１８件	５３件	４５件
単身高齢者世帯	４件	４件	３０件	２６件
単身世帯（高齢者以外）	２件	３件	７件	３件

	その他の世帯	７件	１１件	１６件	１６件

(3) フードパントリー（食料のお裾分け）イベント（補助対象）

回　数	件　　数	受け取り場所等
第１回/ １１月１８日（金）	フードパントリー　19 件 カレーテイクアウト 19 世帯（72 食）	社会福祉協議会: １６時～１９時
第２回/ １月２７日（金）	フードパントリー　14 件 カレーテイクアウト 15 世帯（58 食）	社会福祉協議会: １６時～１９時

(4) 食料品の新たな寄付者を開拓する事業（補助対象）
①新たにフード以外の寄付要件を定めたチラシを作成し全戸配布しました。
②必要資材を購入し、フードドライブを実施する上で必要な助言相談及び必要資材の貸し出しを行いました。

6 災害救済金交付事業

令和４年８月３日の大雨に伴い居住する家屋が全壊、半壊又は床上浸水した世帯に対し義援金をお届けしました。
なお、その財源は社会福祉基金の一部を取り崩して充てました。
(1) 対象世帯　　４９件
(2) 交付方法　　１１月中に役職員が手分けして世帯訪問（※…2月訪問）
(3) 総事業費　　１，０００，０００円

被害規模	交付額	件数	地区別
全焼、全壊又は流失	30,000円	２件	萩生（1）　椿（1）
半焼、半壊又は床上浸水	20,000円	４７件	萩生（1）　椿（19）　黒沢（9） 添川（16）　高峰（1）※手ノ子（1）

7 レクリエーション用具貸出事業【地域における公益的な取組み】

法人が貸出用として所有しているレクリエーション用具の貸し出しを通じて、サロンや町内グループにおける交流活動や余暇活動を支援してきました。
①貸出件数：　　０件（前年比　９件減）

8 車椅子貸出事業【地域における公益的な取組み】

障がい者の外出支援や病気等によって一時的に車椅子が必要となった世帯に対し無料で貸し出しを行いました。貸出期間は１ヶ月に短縮となっています。
①貸出件数：　　８件（前年比　７件減）

9 中学校同級会支援事業

若者の地元への定住及び出会いの場を築いていくための一助として中学校同級会の定期開催を勧奨し、若い世代に対して郷土への愛着や理解づくりを行いました。
①中学校卒業生に同級会開催予告メッセージ交付（飯豊中：５７名）

10 福祉に関する人材育成及び情報支援

福祉に関する資格取得のための助言及び山形県福祉人材センターが発行する求人情報の窓口閲覧を行い、介護の仕事について情報提供を行いました。

11 ボランティア活動への支援

活動時の万が一のケガに備え、ボランティア活動保険の普及を行い、町社協にボランティア登録している団体等に保険料の半額助成を行いました。
①ボランティア保険(助成)取扱件数
基本プラン　４３６人　　特定感染症重点プラン　２７人

12 次世代育成・住民の福祉教育の推進

児童等を主体とした体験学習等への協力を行い、福祉のこころを育むための「学び」の大切さを地域の子供達に伝える活動を計画しましたが、職場体験を含め、新型コロナウィルス感染防止の観点から受け入れは行いませんでした。

13 令和４年８月３日の大雨に伴う災害ボランティアセンターの運営（飯豊町受託・共同募金災害等準備金配分）

令和４年８月３日に発生した記録的な大雨により飯豊町も大きな被害を受けました。町社協では、翌日から被害状況の確認を行い、８月５日付けで飯豊町災害ボランティアセンターをはじめて立ち上げました。９月１５日の閉所に至るまでの間、延べ６２９名の方々が町内外から駆け付け泥かきや家屋の清掃などの活動に尽力いただきました。また、多くの企業、団体の皆様のご協力によって、被災されたご家庭の復旧復興における初期段階のサポートを集中的に実施することが出来ました。
(1) 運営体制　　センター長（伊藤勝昭事務局長）ほか総合福祉管理室職員
(2) 運営概要（活動経過）

活動日	主な活動内容
８月４日（木）	・被害状況及び情報収集 ・関係機関と調整、資機材の手配、立ち上げ準備

８月５日（金）	・災害ボランティアセンター開設 ・被災地域ニーズ調査・チラシ配布・緊急支援
８月６日（土） ～７日（日）	・ニーズ調査及びチラシ配布及びボランティア受入れ準備
８月８日（月） ～１２日（金）	・ボランティアによる被災世帯の泥かき、ゴミ出し等の支援活動
8月１６日（月） ～２３日（火）	・ボランティアによる被災世帯の泥かき、ゴミ出し等の支援活動 ・被災世帯を訪問し困りごとの把握、相談活動
８月２６日（金） ～９月３日（土）	・ボランティアによる被災世帯の家屋内、床下等の清掃活動
９月１５日（木）	・災害ボランティアセンター閉所 ※困りごとの相談は「福祉総合相談窓口」にて対応

(3) 活動ボランティア数／支援実績

時　期		活動件数	活動ボランティア（人数）			運営協力者・県内社協派遣職員
			個人	団体	合計	
準備	８月　７日（日）	－	－	－	－	１１人
第１集中活動期間	８月　８日（月）	６件	２４人	０人	２４人	１０人
	８月　９日（火）	８件	１８人	１７人	３５人	１１人
	８月１０日（水）	７件	２８人	２６人	５４人	９人
	８月１１日（木）	７件	２１人	２７人	４８人	１９人
	８月１２日（金）	９件	１０人	６４人	７４人	１４人
第２集中活動期間	８月１６日（火）	９件	５人	４３人	４８人	１６人
	８月１７日（水）	８件	３人	３２人	３５人	１７人
	８月１８日（木）	１件	８人	６人	１４人	９人
	８月１９日（金）	４件	４人	１６人	２０人	９人
	８月２０日（土）	６件	１０人	３１人	４１人	１１人
	８月２１日（日）	５件	１２人	３７人	４９人	１４人
	８月２３日（火）	１件	０人	１８人	１８人	１人
週末集中活動期間	８月２６日（金）	５件	７人	２１人	２８人	８人
	８月２７日（土）	４件	２３人	５人	２８人	１３人
	９月　２日（金）	４件	１２人	１８人	３０人	１１人
	９月　３日（土）	７件	２８人	５５人	８３人	１２人
合計数		９１件	２１３人	４１６人	６２９人	１９５人

14 成年後見に関する相談と法人後見事業の検討

置賜定住自立圏構想に係る成年後見支援の体制整備について、本町における成年後見制度の利用促進を目的として、飯豊町地域包括支援センターと一体的に研修を行いました。

①親族後見人への支援　（裁判所への提出書類の作成補助：１件）

15 いのちのバトン設置普及事業
（飯豊町一部委託）

前年度に引き続き、単身高齢者世帯を主な対象として、「気になる世帯」を特定し、行政及び民生委員との連携により、普及設置又は情報更新を進めてきました。

【情報キット管理状況】

購入数	設置済数	撤去済数	残数	設置件数	撤去件数	現在設置数	撤去済数	(未設置)残数
600	318	109	173	45	61	302	170	128
平成 28 年度購入分	令和４年３月末日現在			令和４年４月～令和５年３月			令和5年3月末日現在	

①情報シートの更新についても担当民生委員が必要に応じて随時対応を図ってきました。

②死亡または転出した世帯のバトンは、回収処分を行うとともに現設置世帯の台帳整理を随時行いました。

16 安心生きがい訪問事業（飯豊町受託）

日常的に社会生活に適応が困難とされる高齢者に対し、定期的に指導員（訪問介護員）を派遣し、健康観察及び暮らしに関する異変の察知等の支援を行いました。なお、一利用者につき原則、月２回（２週間に１回）の訪問とし、訪問が組まれていない週は「お元気コール」を提供し見守り機能の強化を図りました。

［対象者］概ね65歳以上で介護保険等のサービス給付を受けてない高齢者等 ［単価］月額 11,760 円／件	□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照 ①年間延利用者数　３８４人（前年比４人増） ②収入額　４,５１５千円（前年比４６千円増） ③月平均利用人数　見込／　３５人　実績／　３２人
17 生活事故防止・暮らしの安心・安全のための啓発活動	交通事故や雪害事故防止に向けた啓発活動を関係する福祉団体やヘルパー訪問世帯、その他要援護世帯に対して情報を発信し注意喚起しました。
18 おしどり金婚さん記念品贈呈事業	山形新聞社が主催する「おしどり金婚さん顕彰事業」の趣旨に賛同し、令和４年度に金婚式を迎えられたご夫婦に対し記念品を贈呈し祝福しました。 ①該当夫婦：１７組　②贈呈式：１０月１９日（町民総合センター）
19 第 2 次地域福祉活動計画の推進及び進行管理（計画期間５年のうち３年目）	「第２次飯豊町地域福祉計画・地域福祉活動計画（期間:令和２年４月から５年間）」を推進するため、項目ごとに関係機関と連携しながら、３年目として主に次の取り組みを推進してきました。 ①ＳＤＧｓを意識したボランティア活動の推進を図りました。 ②サロン等へコロナ禍であっても実践できる活動、レクリエーションの紹介を行いました。 ③多くの方に地域福祉に関心を持っていただけるよう情報発信に力を入れてきました。 ④在宅高齢者向けのアンケート調査を通じてコロナの影響と地域の実情把握に努めました。

（２）福祉サービス利用援助事業　所管:総合福祉管理室

項目	内容
1 福祉サービス利用援助事業(山形県社会福祉協議会受託) 基幹的社協／専門員・生活支援員（各１名配置）	権利擁護分野のケースワークにおける中心的な事業として、社会保障制度へのつなぎ役、さらには成年後見制度を補完するという役割を果たしてきました。 権利擁護ニーズが増えている中で、成年後見制度の利用が望ましい現契約者を移行していくための受け皿や体制づくりが課題となっています。

（1）援助の状況

①利用に関する相談件数	７６件（前年比１２件減）
②延べ支援回数	年間６７回提供（前年比２回増）

（2）利用者の状況（過去４年比較）

年度		31（元）年度	2 年度	3 年度	4 年度
利用実人数（3月31日現在）		５件	５件	５件	６件
年度内	内新規契約者	０件	０件	１件	１件
	内成年後見移行者	０件	０件	０件	０件
	内契約解除者（上記除く）	０件	０件	１件	０件
態様	認知症高齢者	１件	１件	１件	２件
	知的障がい者	３件	３件	３件	３件
	精神障がい者	１件	１件	１件	１件

（３）共同募金配分金事業　所管:総合福祉管理室

■配分区分１－令和３年度共同募金による市町村配分事業－

項目	内容
1 単身高齢者のための会食サービス事業 【老人福祉活動費】	要介護状態にない概ね７５歳以上の単身高齢者を対象に、ふれあいの場の提供を通じて、孤立感の解消に繋げていくための会食会を定期的に実施しました。 （1）実施状況 ①実施回数：１０回（前年比３回増） ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため感染拡大時期は活動自粛 ②延利用者数　：７０名（前年比８名増） （2）ボランティアの協力状況 ①町婦人会（９月）　②中津川地区民生委員児童委員（１０月）
2 ふれあいグラウンド	高齢者の健康づくりを推進し、地元の民間福祉活動をみんなで応援していくため

<table>
<tr><td>ゴルフ大会開催事業
【老人福祉活動費】</td><td>にチャリティーイベントとして第１３回大会を競技団体の協力を得て実施しました。
①期日：１０月５日（黒沢スワンパーク）②参加者：５３名（前回比３名増）
③共催・競技主管団体：町老人クラブ連合会・町グラウンドゴルフ協会</td></tr>
<tr><td>3 認知症カフェ開催事業</td><td>新型コロナウイルス感染予防の観点から、年度内の取り組みを中止いたしました。次年度から安全に開催できるように再開準備を行いました。</td></tr>
<tr><td>4 在宅介護者の集い開催事業【老人福祉活動費】</td><td>在宅において配偶者や親の介護をしている方々同士の交流を図りながら「情報収集」と「息抜き」をしてもらう場として開催しました。
①期日：１２月　５日（中部地区公民館）　②参加者：１０名</td></tr>
<tr><td>5 子育てサロン活動育成支援事業
【児童・青少年福祉活動費】</td><td>町内の母親たちが主体となり自主的に活動を続けている育児サークルに対し活動支援を行いました。
①キッズワールド　（１７年目）　②年間活動回数：５回</td></tr>
<tr><td>6 福祉の心推進事業
【児童・青少年福祉活動費】</td><td>祖父母に対する日頃の想いや感謝の気持ちを絵手紙に込め、敬老の日に贈ることにより、小学生に豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として「第１２回おじいちゃん、おばあちゃんへの絵手紙コンテスト」を町老連と共同で主催しました。
①募集対象：飯豊町内小学校に在学する児童
②応募総数：３０３編
③審査委員会：令和４年９月６日（審査委員８名）
最優秀賞（低・高学年各１編）・優秀賞（低・高学年各２編）ほか決定
④後援団体：飯豊町／飯豊町教育委員会／飯豊町民生委員児童委員協議会／飯豊町ＰＴＡ連絡協議会</td></tr>
<tr><td>7 小地域見守り活動支援事業
【福祉育成援助活動費】</td><td>主に地域住民が抱える様々な「生活課題」を専門機関に橋渡しする役割等を担う地域福祉推進委員に対して、福祉活動を効果的に推進することができるよう日常的に連携を深め、気になる世帯の早期把握や住民同士のつながり構築に向けてご協力いただきました。
①地域福祉推進委員　町内：６９名</td></tr>
<tr><td>8 社協だより
「しあわせ」の発行
【福祉育成援助活動費】</td><td>住民の福祉への関心を高めるための情報を掲載した機関誌を年２回発行しました。また、地元企業等から広告協賛をいただきながら紙面の充実に努めました。
(1) 発行部数　①第１３３号（令和４年８月４日発行）：２，４００部
②第１３４号（令和５年２月２日発行）：２，４００部
(2) 広告協賛　①協賛件数　２０社（10千円広告：12枠　／5千円広告：8枠）</td></tr>
<tr><td>9 地域共生型ふれあいいきいきサロン活動育成支援事業
【福祉育成援助活動費】</td><td>社協が支援する「ふれあい・いきいきサロン」は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛しているところが多くありましたが、感染予防対策を意識しながら活動を継続するところも見られ、本会としては各サロンの自主性を尊重し安全にサロンを行う上での情報提供に努めました。
具体的な支援としては、活動費の助成に加え、レクリエーション用具の貸出し、サロン運営をリードする人材のフォローが主となっています。
(1) 町社協が支援する高齢者サロンの活動状況
<table>
<tr><th>団体名（継続年数）</th><th>年間回数</th><th>団体名（継続年数）</th><th>年間回数</th></tr>
<tr><td>①東山あけぼの会　（２０）</td><td>４１</td><td>②下椿いきいきクラブ（２０）</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>③小原ほのぼの会　（２０）</td><td>7</td><td>④椿第一いきいきサロン（１９）</td><td>４０</td></tr>
<tr><td>⑤荻いきいきクラブ　（１９）</td><td>0</td><td>⑥高野寺分いきいきクラブ　（１７）</td><td>４９</td></tr>
<tr><td>⑦向原いきいきクラブ（１６）</td><td>１１</td><td>⑧沖いきいきクラブ　（１２）</td><td>１３</td></tr>
<tr><td>⑨吉長いきいきサロン（１１）</td><td>9</td><td>⑩坪沼いきいきサロン（１１）</td><td>４５</td></tr>
<tr><td>⑪大旦いきいきサロン（１０）</td><td>8</td><td>⑫中郷さくら会　（１０）</td><td>0</td></tr>
<tr><td>⑬辻いきいきクラブ　（9）</td><td>４７</td><td>⑭上郷いきいきクラブ　（9）</td><td>3</td></tr>
<tr><td>⑮中洞いきいきクラブ　（9）</td><td>３５</td><td>⑯ゆいの里たかみねサロン（8）</td><td>５１</td></tr>
<tr><td>⑰中ノ目北いきいきクラブ　（5）</td><td>３６</td><td></td><td></td></tr>
</table>
(2) ふれあい・いきいきサロン運営担当者経験交流会“広げようサロンの輪サミット”の開催
①開催日：２月２８日／町民総合センター「あ～す」　（参加者２２名）</td></tr>
<tr><td>10　社会的なつながりが弱い若者等への参加支援</td><td>ひきこもり、困窮、障がいなどの問題を抱える社会とのつながりが弱い若者等が出会い社会と「つながり続ける」ための取り組みとして次のイベントを行いました。
(1) いいでカレープロジェクト第１弾（１１月１８日）
①参加者：　２人（ほか民生委員２名）②内容：　カレー調理（７２食）
(2) いいでカレープロジェクト第１弾（１月２７日）
①参加者：　２人（ほか民生委員２名）②内　容：　カレー調理（５８食）</td></tr>
</table>

11 町内福祉団体が行う福祉活動への助成	地域福祉の推進を図るために福祉関係団体が行う活動に対し助成を行いました。 ①老人クラブが行う地域支え合い事業（飯豊町老人クラブ連合会） ②身体障がい者機能回復訓練事業（飯豊町身体障がい者福祉協会） ③ＮＰＯが行う育児サポート事業（特定非営利活動法人ほっと）

■配分区分２－令和３年度共同募金による地域福祉・在宅福祉事業－

項　　目	内　　容
1 在宅高齢者の日常生活に関する実態調査	回答いただいた高齢者自身が設問を読み記入することで将来のことについて考えるきっかけとなったり、福祉事業に関して理解が広がりました。高齢者の方との接触が難しい時期ではありましたが普段関りがない方とのやり取りの中で、新たな福祉ニーズの把握にもつながり、また、社協にとってコロナ後の福祉活動を展望する上で貴重な基礎資料を得ることことができました。

調査対象	町内の概ね 70 歳以上の男女（施設入所者は除く）
調査方法	調査員（社協職員）による訪問面接聴取法又は座談会等での自記方式による ※新型コロナウイルス感染拡大等の影響により一部郵送配布（提出）方式又は回収方式に変更して実施した。
調査期間	令和４年９月１日～令和５年１月３１日 ※水害復興支援及び新型コロナウイルス感染症の影響により期間を延長し実施しました。
集計概要	【標本数】　300 人 【有効回収数】293 人（男性）109 人　(女性)182 人　(不明)2 人 【有効回収率】97.7%

■配分区分３－令和４年度地域歳末たすけあい配分事業－

項　　目	内　　容
1 経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業【在宅配分】	生活が困窮していると認められる世帯の暮らしを支援するために民生委員と連携し、町商工会が発行する商品券をお届けしました。 ※配分審査委員会（１２月１５日）／民生委員による戸別配分（１２月２３日） 〔配分世帯〕全７５件　（前年同数）
2 単身高齢者等を対象とした歳末見守り訪問事業【地域福祉活動配分】	日常的な支援や見守りが必要と思われる概ね７０歳以上の単身高齢者等を対象に歳末時期に民生委員が一斉に安否確認を行いました。 ※配分審査委員会（１２月１５日）／民生委員による戸別配分（１２月２３日） ①配分世帯：１０３世帯（前年比１４件増）
3 町内の障がい者施設が行う活動への助成【地域福祉活動配分】	町内の障がい者施設が年末に実施するクリスマスイベントに対して、新たに配分助成を行い、利用者の福祉向上を図りました。 ※配分審査委員会（１２月１５日） ①配分先：福祉事業所でんでん
4 要保護・準要保護認定児童激励支援事業【地域福祉活動配分】	要保護・準要保護認定児童を対象として援助活動を強化していくことを目的として１児童につき３,０００円分の図書カードを贈りました。 ※配分審査委員会（１２月１５日）／民生委員による戸別配分（１２月２３日） ①対象児童数：１８件（前年同数）
5 ボランティアによる単身高齢者世帯への福祉年賀状作成事業【地域福祉活動配分】	町内に居住する単身高齢者及び軽費老人ホーム（ケアハウス）入所者に対して特定非営利活動法人ほっとのメンバーが、手作り年賀状の作成に取り組みました。 ※配分審査委員会（１２月１５日） ①作成枚数：１６４件（前年比１０件増）

世帯分類	内訳	内　　容
①継続的支援が必要な世帯	４９件	９,０００円相当の商品券
②生活保護に準ずる世帯	１５件	１２,０００円相当の商品券
③被災世帯	０件	
④民生委員が必要と認める世帯【一時的に支援が必要な世帯】	１１件	９,０００円相当の商品券

（４）介護福祉移動支援事業　　所管：総合福祉管理室

1　介護福祉移動支援事業
（飯豊町受託）

地理的な要因から通所介護サービスを受けることができない者及び腎臓機能障害により人工透析療法を受けており定期的に医療機関に通院することが必要な者等に対し、自宅から介護事業所又は医療機関等までの送迎を行なうことにより、本人の自立支援とその家族の心身の負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的とする事業を町からの委託を受けて実施しました。

【提供体制】
①運 転 手　　７名（常勤兼務４名・非常勤専従１名・非常勤兼務２名）
②調整担当　　１名（常勤兼務）

【使用車両】
①リース車両　１台（ワゴン車１台）②法人所有車　３台（うち軽自動車３台）

【実施内容】
①自宅から町内の通所介護サービスを提供する事業所までの送迎
②自宅から透析を行う町外の医療機関までの送迎
③自宅から介護予防事業を実施する会場までの送迎

月別	①通所介護送迎		②透析患者輸送		③介護予防事業送迎	
	稼働日数	利用人数	稼働日数	利用人数	稼働日数	利用人数
4 月	9	18(2)	5	5(1)	0	0(0)
5 月	9	17(2)	12	12(1)	0	0(0)
6 月	9	17(4)	13	13(1)	0	0(0)
7 月	17	30(4)	12	12(1)	0	0(0)
8 月	9	17(3)	14	14(1)	0	0(0)
9 月	16	30(4)	11	11(1)	0	0(0)
10 月	16	26(4)	12	12(1)	0	0(0)
11 月	14	19.5(5)	12	12(1)	0	0(0)
12 月	22	30(6)	11	16(2)	0	0(0)
1 月	16	24(5)	10	13.5(2)	0	0(0)
2 月	10	13(3)	12	21(2)	0	0(0)
3 月	12	12(3)	14	22(2)	0	0(0)
合計	159	253.5(45)	138	163.5(16)	0	0(0)

(注1) 利用人数は延べ利用者数とし、（　）に実利用者数(注2) 利用人数は往復で1人とし、送りのみの場合は0．5人

（５）福祉団体が行う活動への支援　（事務局担当）　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 飯豊町民生委員児童委員協議会 （会長　伊藤　佐市）	地域における身近な福祉の担い手として活躍する民生委員児童委員に対し協議会の運営並びに必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①民生委員児童委員　　３６名　　②主任児童委員　　２名
2 飯豊町老人クラブ連合会 （会長　木村　勝男）	高齢者が健康づくり活動や友愛活動を通して心豊かな地域社会の実現を目指し、老人クラブ活動の充実を図るために必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①単位老人クラブ数　　１１クラブ ②会員数　５２７名（前年同月比２５名減）※３月３１日現在
3 飯豊町ゲートボール連合会 （会長　鈴木　廣志）	町内のゲートボール競技団体に対し必要な支援を行ってきました。大会プログラム等の作成は会員が担っていることで事務の負担は軽減しています。 ①支部数　６支部　　※３月３１日現在
4 飯豊町身体障がい者福祉協会 （会長　舟山　貞夫）	身体に障がいをもつ方による自立更生のための当事者組織として活発な社会参加活動が推進できるよう必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①会員数　５８名（前年同月比７名減）※３月３１日現在
5 飯豊町戦没者慰霊祭実行委員会 （会長　木村　勝男）	戦没者の方々の御霊を慰めるため、遺族会が中心となって挙行する慰霊祭の事務を担ってきました。 ①実行委員会（５月２６日）　②戦没者慰霊祭（７月２１日）
6 飯豊町共同募金委員会 （会長　伊藤　榮造）	共同募金に係る執行業務及び募金管理事務を県共同募金会の指導をもとに行ってきました。 ①運営委員会（６月　９日）　②配分審査委員会（１２月１５日）

7 飯豊町社会福祉法人連絡会 （会長　伊藤　榮造）	社会福祉法人が持つ専門性を活かし、情報の共有、連携及び協働を図り、地域の課題解決に取り組むことを目的とした連絡会の事務局を担いました。 ①定期総会（決議の省略）　②担当者会　（３月１３日）
8 飯豊町椿地区公共施設防災対策協議会 （会長　伊藤満世子）	周辺の公共施設における災害発生時の連係を確認し合うとともに利用者の安全を確保するために必要な検討を行ってきました。 ①隣接施設からの火災を想定した合同防災訓練を実施（10月27日/椿地区あ～す近郊）
9 飯豊町移送付添ボランティア連絡会 （会長　伊藤　榮造）	移送サービスの付添いを必要とする方に対し添乗のお手伝い等を行うボランティアの育成及び活動支援を行いました。 ①ボランティア登録者数　５名

５ 介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業【介護拠点】

（介護サービス及び介護予防サービス、地域支援事業等）

（１）高齢者介護予防事業　　所管：総合福祉管理室・ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1 地域介護予防事業 （飯豊町受託）	□事業概要：高齢者の要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化の防止を目的として、中津川地区の 65 歳以上の者を対象に行う「ゆうゆうクラブ」事業について飯豊町から委託を受けて行いました。 ①運営体制：　サポーター数　９名　/ 送迎ボランティア　１２名 ②実利用者：　　３４人（前年比９人減） ③実施回数　：　９１回（前年比２８回増）　※計画９６回 ④延利用者数：６４２人（前年比１５４人増）

地区名	会場	活動回数	実利用者	延べ利用者	1回平均
川内戸ゆうゆう	ひまわり館	23 回	5 人	99 人	4.3 人
中部・小屋ゆうゆう	ひまわり館	22 回	10 人	175 人	8.0 人
白川ゆうゆう	ひまわり館	22 回	10 人	175 人	8.0 人
岩倉ゆうゆう	岩倉公民館	24 回	9 人	193 人	8.0 人
合　計		91 回	34 人	642 人	7.0 人

項　目	内　容
2 らくらく筋トレ教室事業 （飯豊町受託）	□事業概要：町の地域支援事業及び健康いいで２１に基づき、高齢社会における生活自立度の向上と健康寿命の延伸を基本目標に、常時指導員を配置し、トレーニングマシン等を使用した筋力トレーニング・有酸素運動等の提供及び指導を飯豊町から委託を受けて行いました。

4 年度の 目 標	①更なる介護予防の推進と元気な高齢者の育成に寄与していきます。 ②個別データ及びトレーニング結果の評価などサービスの向上を図ります。
結果と評価	①完全予約制とマスク着用に加え間隔を空けたマシン設置を行い新型コロナウイルス感染予防対策を強化してきました。 ②登録件数の稼働率は前年度より１割程度増加しました。
主な課題	①新規登録からの継続利用と新規のアプローチを行い利用拡大を進めていきます。

□らくらく筋トレ教室の事業業績

①年間延利用者数	目標／　２，６００人	実績／　１，９８２人
②年間新規登録	目標／　１５人	実績／　１６人

【参考】利用者の状況　（件）

項　目	31（元）年度	2年度	3年度	4年度
①年度内新規登録（登録者数）	46人(124人)	8人（132人）	5人（117人）	16人（116人）
②延べ利用者数	3,104人	1,692人	1,371人	1,982人
③稼働日数	268日	235日	188日	278日
④1日当たり平均利用者	11.6人	7.2人	7.3人	7.1人

（２）生活支援体制整備事業　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 地域支え合い推進員配置事業（飯豊町受託）	日常生活上の支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる地域づくりを目指しながら、「住民が主体」となった支え合い活動の取り組みを推進してきました。 【主な業務内容】 ①地域の居場所（いっぷぐあが家・みんなこ家）への活動支援 ②生活支援コーディネーターの資質向上に関する研修会への参加（１７回） ③生活困窮者自立支援事業 支援調整会議への参加（３回） ④移送サービス付添ボランティア連絡会の運営補助 ⑤単身高齢者のための会食サービス事業への参加（１０回） ⑥在宅高齢者の日常生活に関する実態調査活動（７回） ⑦広報「いいで」地域支え合い推進員通信（連載）

（３）居宅介護支援事業【ケアマネジメント】　　所管：地域生活支援室

項　目

1 居宅介護支援事業
（介護保険指定居宅介護支援事業者）
【対象：要介護１～５】

［料金関係］05.3現在

区分	料　金
要介護1・2	13,850円／月
要介護3～5	17,070円／月

※特定事業所加算（Ⅲ）
3,090円含
（注）初回加算3,000円別途

2 介護予防ケアマネジメント業務（第１号介護予防支援事業）
（飯豊町地域包括支援センター受託）

【対象：要支援１及び２】

［対象者］要支援１及び２
［単価］月額 10,760 円
（初回の場合）4,380 円＋
初回加算 3,000 円、連携加算 3,000 円、支援加算 380 円
（初回以外の場合）4,380 円＋
支援加算 6,380 円

内　容

□事業概要：要介護者及び要支援者が、必要な介護サービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるようケアマネジャーが本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプランを作成し、サービス事業者と連絡調整等を行います。この内、要支援者(予防給付対象者)に対し「介護予防サービス計画」を作成する業務は飯豊町地域包括支援センターから委託を受けて行っています。

4年度の目標	①多職種連携を強化し、自立支援や望む生活の実現に向けて協働できることを目標とします。
結果と評価	① 請求件数は、過去5年で最も多く 1,400 件に到達し、月あたりの件数は平均して 123 件となりました。 ② 資格更新のための法定研修をはじめ、各種研修を計画的に実施しました。
主な課題（今後の方針等）	① 引き続き関係機関との連携を強め、信頼関係を維持する中で顧客確保を図っていきます。 ② 事例検討会や研修会等を通じてケアマネジメントの質の向上を図ります。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

(1)居宅介護支援事業

①年間延利用者数	１，０１９人（前年比１３４人増）	
②月平均利用者数	目標／　７６人	実績／　８４．９人
③収入額	１５，５５３千円(前年比２，１７２千円増)	
④実利用者数	８７人※令和５年３月現在（前年比１１人増）	

(2)介護予防支援事業の受託

①年間延利用者数	４６０人（前年比１８４人増）	
②月平均利用者数	目標／　４５人	実績／　３８．３人
③収入額	４，９４９千円（前年比３，５０７千円増）	
④実利用者数	３９人※令和５年３月現在（前年比１４人増）	

【参考】ケアプラン及び予防プラン作成件数　(件)

項　目	30 年度	31（元）年度	2 年度	3 年度	4 年度
介　護	996	927	860	885	1,019
予　防	285	414	389	276	460
合　計	1,281	1,341	1,249	1,161	1,479

3 家族介護支援事業 （飯豊町受託）	町からの委託を受けて、家庭介護者の相談及び介護に関する知識、技術の習得のための教室を５回実施しました。 （1）家族介護教室事業

期日・場所（参加した介護者）	内　　容
令和４年　７月２１日 健康福祉センター（８名）	「体験しましょう。介護用品」 講師：株式会社ウェルランド　福祉用具専門員　高梨久美 氏
令和４年　９月　８日 健康福祉センター（９名）	「自宅に潜む危険なポイント」 講師：介護老人福祉施設「美の里」作業療法士　木村　康之氏
令和４年１１月１４日 健康福祉センター（９名）	「栄養について」 講師：山形県栄養士会　置賜地区栄養ステーション　竹田美喜子氏
令和４年１２月１０日 中部地区活性化センター（１０名）	「ご存じですか？成年後見制度」 講師：置賜成年後見センター相談支援員　鈴木ひとみ氏
令和５年　２月１０日 健康福祉センター（１０名）	「認知症に関する教養講座」 講師：公立置賜総合病院　認知症看護認定看護師　田中　明美氏

（2）家族介護者交流事業

①事業内容　町内温泉施設「しらさぎ荘・白川荘」共通入浴券２枚進呈
②使用期間　８月２０日～１１月３０日
③対象件数　１２４件（要介護１以上の者を現に介護している家族）
④利用状況　　３８件（使用率３０．２％）

（４）居宅介護等事業【ホームヘルプ】　所管：地域生活支援室

項　　目	内　　容
1 訪問介護事業 （介護保険指定居宅サービス事業者） 【対象：要介護１～５】 営業時間:7:00～21:00 ※12月29日～1月3日は休み ［料金関係］05.3現在 特定事業所加算(Ⅱ)含み ［基本料金１０％］	□事業概要:介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが介護の必要な人の自宅を訪問し、排泄、入浴介助等の身体介護や調理、掃除等の生活援助サービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用世帯の地域生活を支援していくことが目的です。

区分	身体介護	加算関係
２０分～３０分未満	2,500円	早朝（6～8時）夜間(18～22時) 25%加算 初回加算 2000円 緊急時訪問加算 1,000円 処遇改善加算 13.7%(訪問型13.7%) 特定処遇改善加算 4.2%（訪問型4.2%） ベースアップ等支援加算（2.4%）
３０分～６０分未満	3,960円	
６０分～９０分未満	5,790円	
９０分～（３０分単位）	840円	

４年度の目標	①ご利用者様とご家族様の人権とプライバシーを尊重し笑顔と思いやりを持って真心の介護を提供します。 ②経営基盤を安定させ介護サービスの継続性を保持し、地域の信頼と期待に応えられるように努めます。 ③教育を継続し、意識の向上を図るとともに、必要な能力の開発・維持に努めます。
結果と評価	①当初の予定を上回る結果となりました。介護保険サービス、訪問型サービス以外にも特に障害福祉支援のニーズに幅広く対応したことで介護技術に対する大きな評価をいただき提供回数の増に繋がりました。
主な課題（今後の方針等）	①今後も年間 10 件を目標に個別サービスマニュアルの見直しを行います。 ②ヘルパーの後継者の育成に取り組みます。

2 訪問型サービス（介護予防訪問介護相当サービス）事業
（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）
【対象：要支援１及び２】
営業時間：8:00～17:00
※12月29日～1月3日は休み
［料金関係］05.3現在

区分	月額
週１回程度	１１,７６０円
週２回程度	２３,４９０円
週３回程度	３７,２７０円

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数(訪問型サ含)	４,６４８回（前年比　１,１８９回増）	
②月平均利用人数(訪問型サ含)	目標／　２３１人	実績／　３８７.３人
③年間延提供時間(訪問型サ含)	２,８０７時間５７分（前年比７７４時間５５分増）	
④収入額（訪問型サービス含）介護報酬+利用者負担金	１５,０６７千円（前年比　３,８２１千円増）	
⑤実利用者数(訪問型サ含)	２３人※令和５年３月現在（前年比　５人増）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　５.８％（前年比２.６％増）	

【参考】訪問介護サービス提供時間数　（時間）

項　　目	30年度	31（元）年度	2年度	3年度	4年度
介護・予防計	2,172	2,205	2,268	2,033	2,671

3 訪問自費介護サービス 営業:7:00～21:00　※12月29日～1月3日は休み ［料金］※早朝・夜間割増有 30分以上45分未満1,800円 45分以上60分未満2,400円	介護保険制度の対象にならないサービス需要に対応するため利用者との契約行為により外出支援、通院介助を中心とした介護サービスを提供してきました。 □利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	１０６回　（前年比８回増）	
②年間延提供時間数	１７８．５時間（前年比　２７．５時間増）	
③収入額	４２６千円（前年比　５９千円増）	
④月平均利用人数	目標／　３．５人	実績／　６.０人

4 居宅介護（ホームヘルプ）事業 (障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者) ［対象者］身体、知的、精神障がい者及び障がい児 ［営業日］月～金曜/7:00～21:00　※12月29日~1月3日を除く	障がいがあっても可能な限り自立して生活を営むことができるよう本人にとって必要な介護及びそれに付随する生活援助を提供しました。 □利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	１,１３６回（前年比　３９７回増）		
②年間延提供時間数	家事援助	２７０．５時間（前年比　７０時間増）	
	身体介助	５２８．０時間（前年比１６９時間増）	
③収入額（給付費）	４,４４８千円（前年比　１,８７２千円増）		
④延利用回数（月平均）	目標／　７３回	実績／　９５回	

5 福祉有償運送サービス事業 ［対象者］ 要介護者及び障がい者等 ［料金］300円～km数毎設定 ［営業日］月～金曜/8:30～17:15※12月29日~1月3日を除く	単独で公共交通機関を利用することが困難な移動制約者の通院等の交通手段を確保するための福祉有償運送サービスは、マンパワーの問題等から主に現社協・介護サービス利用者に限定した提供となっています。 □利用状況

①年間運送回数	８６回（前年比４７回減）
②対価収入	６９千円（前年比４３千円減）
③対価キロ	６７１km　（前年比２４７.６km減）
④会員（運送対象者）数	９人※令和５年３月現在（前年比１人減）

（５－①）通所介護事業【デイサービス】　所管:ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1 地域密着型通所介護事業(介護保険指定地域密着型サービス事業者)及び通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）事業(飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定)	□事業概要：要介護者及び要支援者を自宅まで送迎し、昼食、入浴、機能訓練及びレクリエーション等日中のサービスを提供します。家族介護者の負担軽減のみならず、利用者本人が日中を有意義に過ごすことで、自宅における生活機能やＱＯＬを維持向上させることが目的です。なお、町内において通所介護（デイサービス）を提供している事業所の中で、認知症対応のサービスを提供しているところは本事業所のみとなります。

営業日:水曜・年始3日を除く日
定員：18名
提供時間原則9：00～16：00
［料金関係］05.3現在

区分	月　額
要支援１	１６,７２０円
要支援２	３４,２８０円

区　分	所要時間7~8時間／日
要介護１	７,５００円
要介護２	８,８７０円
要介護３	１０,２８０円
要介護４	１１,６８０円
要介護５	１３,０８０円

［加算(減算)料金］
①入浴介助加算　400円(回)
②中重度者ケア体制加算 450円(回)
③個別機能訓練加算Ⅰ　560円(回)
④サービス提供体制加算（Ⅰ）220円(回)
（支1/880円　支援2/1760円）
⑤送迎減算(片道)　-470円(回)
⑥介護職員処遇改善加算5.9%
⑦介護職員等特定処遇改善加算1.2%
⑧ベースアップ等加算　1.1%

４年度の目標	①継続した感染症予防対策の徹底及び感染症対策における知識や重要性について改めて認識を深め、ご利用者様やご家族様に安心をご提供できるように努めて参ります。 ②介護予防体操や活性化リハビリ、体を動かすゲーム活動等、たくさんの活動に参加して頂き、刺激を受けながら楽しさや張り合いを感じられる環境づくりを心掛けて参ります。 ③ご家族様や関係機関様との情報共有、連携を通して、ご利用者様お一人お一人の状態に合わせた支援のご提供に努めます。 ④全職員が認知症に対する知識を深め、お一人お一人のその方らしさを尊重し、満足感や充実感のある時間をお過ごし頂けるように取り組んで参ります。
結果と評価	①指定地域密着型通所介護における運営推進会議を年２回開催しました。 ②事故対応スキル及び事業所の収支管理意識の向上が見られました。
主な課題（今後の方針等）	①職務基準の見直しを行うとともに人材育成研修が必要です。 ②部下とのコミュニケーションを深めたり、リーダーシップの向上については引き続き育成が必要です。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照
（1）地域密着型通所介護及び通所型サービス

2 認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び介護予防認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型介護予防サービス事業者）

営業日：水曜・年始3日を除く日
定員：12名
提供時間：原則9：00～16：00
［料金関係］05.3現在

区分	所要時間 7～8 時間／日
要支援１	８,５９０円
要支援２	９,５９０円

区分	所要時間 7～8 時間／日
要介護１	９,９２０円
要介護２	１１,０００円
要介護３	１２,０８０円
要介護４	１３,１６０円
要介護５	１４,２４０円

①入浴介助加算　400 円(回)
②サービス提供体制加算（Ⅰ）　270 円(回)
（支援 1/240 円　支援 2/480 円）
③送迎減算(片道)　-470 円(回)
④個別機能訓練加算Ⅰ　270 円(回)
⑤介護職員処遇改善加算 10.4%
⑥介護職員等特定処遇改善加算 3.1%
⑦ベースアップ等加算　2.3%

①年間延利用人数(通所型サ含)	３,３７０人（前年比　３５１人増）
②営業日数	２９７日（前年比１７日増） ※7月から日曜日営業開始（週6日営業/休日は水曜のみ）
③利用率(通所型サ含)（目標51.6%以上）	６３.０％（前年比 ３．１％増） 目標／　９．３人（日）　実績／１１.３人（日）
④実利用者数(通所型サ含)	５３人※令和5年3月現在（前年比７名増）
⑤総合事業比率（利用者）	全体の ２１.１％（前年比　２．８％増）

(2) 認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護

①年間延利用人数(予防含)	１,９７３人（前年比 ４７人増）
②営業日数	２９７日（前年比１７日増） ※7月から日曜日営業開始（週6日営業/休日は水曜のみ）
③利用率(予防含)（目標65.0%以上）	５５.４％（前年比 １.９％減） 目標／　７.８人(日)　実績／６.６人（日）
④実利用者数(予防含)	２１人※令和5年3月現在（前年同数）
⑤予防比率（利用者）	全体の３．７％（前年比　３.７％増）

(3) 収入合計額（地域密着型＋認知症対応型）

収入額　（予防給付含） 介護報酬+利用者負担金+食費+実費	６３,９６５千円（前年比 ５,８５２千円増）

【参考】通所サービス延利用人数　（人）

項　目	30 年度	31（元）年度	2 年度	3 年度	4 年度
通所介護	4,079	4,402	3,449	3,019	3,370
認知対応	2,783	2,749	2,293	1,926	1,973
合　計	6,862	7,151	5,742	4,945	5,343

3 介護保険外宿泊サービス（お泊まりデイ）及び日中サポートの提供

宿泊受入：火・水曜日以外の日
※1月1日～3日を除く
定員：9名
提供時間：原則16：00～9：00

1 泊 2 日
3,000 円(2 食付)

□事業概要：指定短期入所生活介護（ショートステイ）の廃止を受けて令和４年７月からショートステイの設備を活用して、指定通所介護（デイサービス）の利用者がお泊りできる保険外の宿泊サービスを提供しました。

□宿泊サービス利用状況

①年間延利用人数	４３５人（令和4年7月～令和5年3月）
②実利用者数	１４人　※令和5年3月現在
③稼働日数	１６１日（泊）
④当該サービス収入額	１,８１８千円※食費除

□日中サポート（保険外の通所介護）サービスに関する利用状況

①年間延利用人数	２４人（令和4年7月～令和5年3月）
②実利用者数	３人※令和5年3月現在

（５－②）通所型サービスＡ事業【総合事業】　所管：ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1 通所型サービスＡ事業（飯豊町委託） 営業日：原則火曜・金曜日 定員：8名 提供時間：原則10：30～14：00	□事業概要：生活機能の低下が認められる高齢者等が、通所型サービスの利用により、生きがいづくり及び健康保持を図り、社会的孤立の防止と地域における自立した日常生活を支援することを目的としています。 □利用状況

①年間延利用人数	４９４人（前年比３２９人増）
②稼働日数	９３日（前年比６１日増）
③実利用者数	１２人※令和5年3月現在
④収入額（受託料）	1,７１９千円(前年比１,１４１千円増）※食費除

（６）短期入所生活介護事業【ショートステイ】　所管：ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1 短期入所生活介護事業	□事業概要：短期入所施設にて要介護者及び要支援者へ食事、入浴、機能訓練及びレクリエーション等のサービスを提供します。短期入所施設には、特別養護老人

ホーム等に併設された併設型と本事業所の様な単独型の２種があります。

（介護保険指定居宅サービス事業者）

【対象：要介護１～５】

定数:20床(個室ユニット型)

全日/24時間稼働

［料金関係］05.3現在

区分	日　額
要介護１	７,３８０円
要介護２	８,０６０円
要介護３	８,８１０円
要介護４	９,４９０円
要介護５	１０,１７０円

［加算(減算)料金］

①送迎加算　1840 円(回)

②看護体制加算Ⅱ80 円(日)

③サービス提供体制加算Ⅱ　180 円(日)

④緊急短期入所受入加算 900 円(日)

⑤長期利用者提供減算-300 円(日)

⑥介護職員処遇改善加算 8.3%

⑦介護職員等特定処遇改善加算 2.7%

単独型の事業所は県内でも珍しく個室ユニット型による提供を行っています。

４年度の目標	①ご利用者様ご家族様に信頼される介護サービスを提供します。 ②常に笑顔を心掛け、明るく楽しく安心して過ごしていただけるようサービス提供に努めます。 ③新たな事業の開始に向けて業務内容を整備します。
結果と評価	①新型コロナウイルス感染症予防について、職員の意識向上が図られるよう安全衛生委員会を軸に、しっかりとした対策をとってきました。 ②事業所の閉鎖に当たり、利用者の不利益が生じないよう丁寧なつなぎフォローを実施しました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用人数(予防含)	６８３人（前年比　　２,９０８人減）	
②月平均利用人数(予防含)	目標／　２５８人	実績／　２２７.７人
③営業日数	９１日（前年比２７４日減）	
④収入額(予防給付含) 介護報酬+利用者負担金+食費+実費	９,０４３千円（前年比３６,５５９千円減）	
⑤利用率(予防含) （目標42.5%以上）	３７.５%（前年比１１.７%減）	
	目標／８.５人（日）	実績／　７.５（日）
⑥実利用者数	２０人※令和５年３月現在(前年比１４人減)	
⑦予防比率（利用者）	全体の２.4%（前年比　０.９%減）	

2 介護予防短期入所生活介護事業(介護保険指定介護予防サービス事業者)

【対象：要支援1・2】

［料金関係］05.3現在

区分	日額
要支援１	５,５５０円
要支援２	６,７４０円

【参考】短期入所サービス延利用人数　（人）　※4 年度は 4 月～6 月まで 3 ケ月

項　目	30 年度	31（元）年度	2 年度	3 年度	4 年度
介護・予防計	5,196	5,381	4,747	3,591	683

3 短期入所事業(障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者)

短期入所を必要とする障がい者の利用実績は、毎月５日程度の継続的な利用がありました。

①年間延利用日(人)数	１７日　（前年比４０日減）
②実利用者数	１人　（前年同数）
③収入額	７６千円（前年比６０千円減）

4 在宅老人短期入所施設利用弾力化事業(飯豊町受託)

家庭的事情等により身体的介護又は自立生活支援が必要な要援護者の短期利用について、４年度の利用実績はありませんでした。

5 日中一時支援事業（障害者総合支援法による市町村地域生活支援事業の飯豊町委託）

日中における活動の場の確保及び一時的な見守り等が必要な在宅障がい者に対し、平日の早朝の時間帯に継続して支援を行いました。

①年間延利用日(人)数	４５５日（前年比１２日減）
②実利用者数	２人※令和５年３月現在
③収入額	１,０２８千円（前年比１３千円減）

６　公益を目的とする事業【困窮者支援拠点】

（１）生活困窮者自立支援事業【西置賜地域社協共同体】　所管:総合福祉管理室

項　目	内　容
1 自立相談支援事業 （県委託） 西置賜地域生活自立支援サブセンター ［窓口］8：30～17：15 ［休日］土・日・祝日及び／12 月 29 日～1 月 3 日 ［体制］相談支援員兼就労支援員（2 名配置）	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者（現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）の経済的な自立促進を図ることがこの事業の目的となります。 新規相談件数は３年度に引き続き２０件を超え、１ヶ月平均して約２名の相談を受け付けました。 （1）利用件数　（過去４年比較）

相談件数	30年度	31（元）年度	2年度	3年度	4年度
①新規相談件数	17件	9件	24件	25件	23件

内高齢者	4件	4件	10件	13件	15件
内障がいのある人	3件	3件	3件	2件	2件
②住宅確保給付金に係る相談件数	―	―	1件	－	―
内支給決定件数	―	―	1件	－	―
③新規プラン作成	1件	2件	10件	5件	1件
④延べ相談件数（援助回数）	96件	117件	386件	270件	107件

(2) 支援調整会議の開催　　３回
①第１回　６月２７日　　新規０件、継続２件（うち更新２件）
②第２回　９月２７日　　新規１件、継続０件（うち更新０件）
③第３回１２月２７日　　新規０件、継続２件（うち更新１件）
(3) 飯豊町自立支援会議の開催　２回
①第１回　９月２７日（構成機関出席８名・検討ケース６件）
②第２回　３月２８日（構成機関出席７名・検討ケース２件）

7　収益を目的とする事業　【デマンド交通拠点】

（１）地域の公共交通に関する事業（デマンド交通事業）　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容

1 デマンド交通事業
「ほほえみカー」の運行　(飯豊町補助)

[運休日]土・日・祝日及び
8 月 13 日～16 日／12 月 29 日～1 月 5 日
[車両台数]9 人乗り車両２台
4 人乗り車両２台
[予約受付]7:30～16:00

利用料金【平成 21 年 4 月最終改正】

地区	中津川	西部白椿	中部東部	長井エリア
中津川	400 円	400 円	600 円	800 円※
西部白椿	400 円	400 円	400 円	600 円
東部中部	600 円	400 円	400 円	600 円
長井エリア	800 円※	600 円	600 円	利用不可

※印はまちなかエリアの椿乗換エリア内で乗り継ぎした場合の料金となります。
※福祉割引適用者及び小学生は各料金の半額。
※小学生未満は１名まで無料　（１歳未満児無料）
２人目から小学生同一料金

令和４年度の利用者数は、前年度と比較し１日当たり 8.5 人減少し、35.9 人となりました。特徴として町内の利用者数は（3 年度）3,015 人から（4 年度）3,070 人に増加し、また、福祉割引適用を除く利用者数も、(3 年度）4,368 人から（4 年度）4,540 人とわずかに増加しました。

一方で、町外は、特に福祉割引適用者の利用が（3 年度）3,953 人から（4 年度）2,977 人に激減しており、町外の医療機関や施設に通所するヘビーユーザーの減少が、ほほえみカー全体の利用者減に結びついていることがわかりました。以上のような経過を踏まえ、運行委員会では利便性の向上を図り、高齢者の暮らしに直結した仕組みへの見直しを検討すべく、視察研修を取り入れながら調査研究を進めてきたところ、8 月の大雨災害を受けて、ほほえみカーのリニューアルは１年先延ばしとなりました。

(1) 利用状況の概要　※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	８,４５２人（前年比９３１人減）
②１日平均利用者数	３５.９人（前年比３.５人減）
③稼働日数	２３６日（前年比２日減）

(2) 利用登録者の推移

時　期	登録者数	登録者異動件数
令和4年3月31日現在	３,７５０名	新規登録 17件
令和5年3月31日現在	３,７０４名	削除件数 63件

(3) 利用促進事業の推進
①回数券の販売促進　（１４３冊/６９５,０００円）
②商工会無料券進呈事業との連携（３４６枚進呈/１９社）
③予約代行サービスの協力提携（通年）
④インターネット、ＦＡＸ及び書面による予約受付体制を構築
⑤ほほえみカー通信の発行（年２回）

(4) 運行委員会開催状況（定数：１５名／委員長：伊藤　榮造）

①令和 4 年 10 月 28 日	めざみの里観光物産館	11 名出席
②令和 5 年 3 月 23 日	町民総合センターあ～す	12 名出席

(5) 企業協賛広告募集・契約　（年間 50,000 円・半年 30,000 円）

企業名	継続年	企業名	継続年
①医療法人仁陽堂外田医院	16 年	②ゆり調剤薬局	16 年
③協同組合ゆりスタンプ	16 年	④桑島眼科医院	15 年
⑤医療法人松下クリニック	15 年	⑥いいでワゴー薬局	15 年
⑦松下歯科医院	9年	⑧NDソフトウェア株式会社	8年
⑨小笠原法律事務所	4年		

８　その他

（１）関係機関との連携　　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 西置賜地方福祉連絡会議（議　長：小国町社協）	西置賜管内社協と連携を保ちながら当面する共通課題について研究協議を行うと共に、活動振興や経営基盤の確保について連絡調整を図ってきました。 会議・研修会名／期日（場所）／出席者 ①会長並びに事務局長会議　１１月２９日（小国町）　会長及び局長 ②事務局長及び担当者会議　４月２２日（小国町）　局長及び室長 ③担当者会議　２月２４日（小国町）　担当室長 ④職員研究協議会　１２月１５日（小国町）　担当室長
2 置賜地方社会福祉協議会連絡会	【置賜地区合同研修事業】 会議・研修会名／期日（場所）／出席者 ①職員研修（担当：米沢市）　１０月２５日（米沢市）　担当室長 ②老人クラブ連合会連絡協議会（担当：南陽市）　１０月２８日（南陽市）　担当室長 ③担当者会議（担当：白鷹町）　５月２７日（白鷹町）　担当室長 ※役員研修及び置賜ボランティアの輪連絡会議の活動は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止
3 福祉大会等への参加	【福祉大会等の参加状況】 ①第７２回山形県民福祉大会（新庄市）　本会役職員１０名 ②令和４年度山形県身体障がい者福祉大会（長井市） ※山形県老人福祉大会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止
4 関係会議（委員会）への役職選出又は関係機関より委嘱を受けるもの	(1) 会　長 組織名／職名 ①社会福祉法人山形県社会福祉協議会　評議員 ②飯豊町共同募金委員会募金審査委員会　委員（委員長） ③ほほえみカー運行委員会　委員（委員長） ④飯豊町生活支援介護予防サービス推進協議会（健康福祉課）　委員 ⑤飯豊町民生委員推薦会（健康福祉課）　委員（委員長） ⑥いいで未来サポート隊（総務企画課）　会員（監　事） ⑦飯豊町障がい者差別解消支援地域協議会（健康福祉課）　委　員 ⑧飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課）　委　員 (2) 事務局長 ①飯豊町要保護児童対策地域協議会（教育委員会）　委　員 ②社会福祉法人山形県共同募金会　評議員 ③飯豊町地域公共交通会議　（住民税務課）　出納員 ④山形県共同募金会飯豊町共同募金委員会　委　員 ⑤飯豊町高齢者虐待防止ネットワーク協議会（健康福祉課）　委　員 ⑥会員加入促進若手増強委員会（老人クラブ連合会）　委　員 (3) 施設長 ①飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課）　委　員 ②飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課）　委　員 ③飯豊町地域包括支援センター運営協議会（健康福祉課）　委　員 ④グループホームひめさゆり荘２号館運営推進会議（いいで福祉会）　委　員 (4) 法人が加盟又は参加する機関団体・会議等 ①山形県老人福祉施設協議会　会　員 ②長井地区安全運転管理者連絡協議会（長井警察署）　会　員 ③長井地区被害者支援連絡協議会（長井警察署）　会　員 ④飯豊町商工会　会　員 ⑤置賜地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会　構成員 ⑥公益社団法人山形県社会福祉振興会　会　員 ⑦社会福祉法人福利厚生センター　会　員 ⑧飯豊町地域ケア会議（健康福祉課）　構成員 ⑨やまがた福祉移動サービスネットワーク　会　員

	⑩飯豊町地域安全克雪方針策定委員会（健康福祉課）　委　員
5 町長との情報交換会の開催	社協・介護サービス新・経営戦略の素案に基づき現況の課題を共有しながら、経営基盤の確立に向けて、引き続き町からの支援の拡充を求めてきました。 (1) 開 催 日　令和 ４年 ９月２４日 (2) 提案及び要望事項 ①令和３年度決算及び令和４年度予算概要について ②福祉の里めざみの経営状況と今後の課題に関する意見交換　等
6 共　催・後　援　等	(1) 共　　催　　１件 ①大人が変わればこどもも変わる県民運動(主催:山形県・山形県教育委員会等) (2) 名義後援　　３件 ①第41回飯豊町長・町老連会長杯争奪ゲートボール大会　(主催:飯豊町老人クラブ連合会) ②第31回山形県健康福祉祭「美術展」　(主催：山形県・山形県社会福祉協議会) ③第７２回山形県・県民福祉大会（主催：山形県・山形県社会福祉協議会等）

（２）共同募金運動及び歳末たすけあい運動等への協力　　所管 ： 総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 赤い羽根共同募金運動への協力 実施時期：令和 4 年 10 月 1 日 ～12 月 31 日 (厚生労働省告示)	地域福祉の推進を図るための財源を確保し、民間福祉活動を支援するための共同募金について、住民自治組織及び関係団体の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯７００円と設定しました。 目　標　額：２,２６７,０００円（前年同額） 実　績　額：２,１２８,４９７円（前年比９,５９４円減） 達　成　率：９３．９％ ①戸別募金　１,３６０,０６０円　②大口募金　６４６,５８７円 ③学校・職域募金　７２,６５８円　④その他募金　４９,１９２円
2 歳末たすけあい運動への協力 実施時期: 令和 4 年 11 月 10 日 ～12 月 9 日	歳末時期に地域で援助を必要としている方々を支えあうための運動として、住民自治組織及び民生委員の皆様の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のための戸別募金の目安額は１世帯５００円と設定しました。 配分審査委員会の開催状況／令和４年１２月１５日（町民総合センター） 目　標　額：１,０００,０００円（前年同額） 実　績　額：９４３,０００円（前年比３０,０００円減） 達　成　率：９４.３％ ①戸別募金　９４３,０００円

（３）その他　　所管:　総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 福祉サービスに関する苦情・事故等	デイサービスでの物損、荷物や靴の取り違え等のミスが若干目立つ一方、転倒事故等の件数は少なくなっている状況です。 なお、解決に向けての話し合いが不調に終わったケースはありませんでした。 (1) 苦情・事故の発生状況 ①苦情件数：１件（前年比１件減）　②事故件数：１９件（前年比６件減）

内　容		地域福祉事業	介護予防	居宅介護	訪問介護	通所介護	短期入所
事故	車両に関わる事故	0		0	0	0	0
	利用者転倒、ケガ	0	0	0	0	3	3
	その他	0	0	2	2	8	1

苦情	利用料等の徴収・誤請求				0	0	0
	職員態度・サービス不満	0	0	0	0	1	0
	説明・情報不足	0	0	0	0	0	0

(2) 苦情解決委員会開催状況（委員：３名／委員長：鈴木　義一）

①令和　５年　３月２７日	福祉の里めざみ相談室	委員３名出席

(3) 苦情解決処理結果の公表（いただいた苦情の内容と対応の要約）

Case1 （通所介護）	内容：送迎時に重要事項説明書への押印を求められたが、具体的な説明もなく内容に不備もあるため署名はできない。
	対応：正式な重要事項説明書を持参のうえ、自宅訪問し説明が不足したことを謝罪した。その後、納得したうえで署名捺印をいただいた。

2 役職員等による研修関係

令和４年度において下記の通り研修を行いました。

(1) 評議員役員合同研修会　１１月２１日（評議員１３名・役員８名）

行政説明・講義

「介護保険制度をめぐる最近の動向について」

講師　置賜総合支庁保健福祉環境部地域保健福祉課

地域福祉専門員　　平山　万貴子　氏

「事業所を取り巻く現状と飯豊町介護保険事業の方向性について」

講師　飯豊町健康福祉課福祉室（飯豊町地域包括支援センター）

室　　長　　宮川　千鶴子　氏

(2) 事業主が実施する研修並びに教育

「職場における交通安全教育について」

講師 飯豊町住民課生活環境室

交通安全専門指導員　舟山　陽子 氏

(3) 職員（研修委員会等）が自発的に実施する研修

各部署（室又は事業所ごとに実施）

3 人事考課の取り組み

人事考課制が導入６年目となり、職員の成果が適切に評価される納得性の高い運用が築かれてきました。引き続き、法人に対する貢献度の向上に資するために更に望ましい評価のあり方及びフィードバックの方法を検討していきます。

(1) 昇格・昇給等のための定期評価対象期間

①令和５年　４月昇給=令和４年　４月１日～令和５年　２月末日

(2) 賞与（勤勉手当成績率）査定のための評価対象期間

①令和４年　６月支給＝令和３年１２月１日～令和４年　５月末日

②令和４年１２月支給＝令和４年　６月１日～令和４年１１月末日

(3) その他

①事務局長、施設長と個々の職員との面談（９月～１１月）

4 介護職員の処遇改善	福祉・介護職員等の処遇の改善を図り人材不足の解消を進めるため、加算算定に必要な要件の整備を行い、基本給における定期昇給の財源に活用しました。 (1) 介護保険（報酬分のみ）算定状況（令和５年４月国保連申請分）

介護保険居宅サービス事業者	4年度	3年度	増　減
訪問介護給付(予防含)全体報酬額	13,677,449円	10,124,053円	3,553,396円
①処遇改善加算	1,626,330円	1,326,970円	299,360円
②特定処遇改善加算	498,890円	409,050円	89,840円
③ベースアップ等支援加算（補助金含）	346,829円	－	346,829円
通所介護給付(予防含)全体報酬額	53,811,799円	48,466,846円	5,344,953円
①処遇改善加算	4,149,390円	3,917,760円	231,630円
②特定処遇改善加算	1,056,660円	1,011,080円	45,580円
③ベースアップ等支援加算（補助金含）	449,900円	－	449,900円
短期入所介護給付(予防含)全体報酬額	6,864,709円	33,839,012円	−26,974,303円
①処遇改善加算	553,720円	2,792,500円	−2,238,780円
②特定処遇改善加算	180,110円	908,390円	−728,280円
③ベースアップ等支援加算（補助金含）	178,824円	－	178,824円
合　計	74,353,957円	92,429,911円	−18,075,954円
①処遇改善加算	6,329,440円	8,037,230円	−1,707,790円
②特定処遇改善加算	1,735,660円	2,328,520円	−592,770円
③ベースアップ等支援加算（補助金含）	975,553円	－	975,553円

(2) 障害福祉サービス算定状況　（令和５年４月国保連申請分）

障害福祉サービス事業者	4年度	3年度	増　減
自立支援介護給付費(訪問)	4,392,480円	2,430,250円	1,962,230円
①処遇改善加算	953,200円	534,640円	418,560円
②特定処遇改善加算	未算定	未算定	－
③ベースアップ等加算（交付金含）	180,748円	－	180,748円

5 監督官庁等が実施した検査又は調査等	令和４年度において所轄庁又は指定権者等による実地指導はありませんでした。
6 労働安全衛生活動の推進	職場として安全衛生活動を推進することで、労働災害の防止を図り、職員一人ひとりが安心して働ける職場環境の実現と職員が心身ともに健康で継続して勤務できるように努めてきました。 (1) 労働安全衛生の取り組み（安全衛生委員会の月１回開催） ①健康診断の充実(南陽健診センター) ②４Ｓ・ＫＹ活動の実施(通年) ③インフルエンザ予防接種の実施 ④ストレスチェックの実施(１１月) ⑤新型コロナウイルス感染予防対策（ワクチン接種勧奨・集中的検査の実施） ⑥転倒防止対策等

7 働き方改革の推進	年次有期休暇の年５日の取得義務における適正管理及び時間外労働及び休日労働実態の常時把握に努めながら働きやすい職場づくりを進めてきました。 (1)時間外労働（休日労働）抑制のための把握状況

室　別 (管理職は適用除外)		月平均残業 時間(平日+休日)	残業数 最大月	月平均休日 労働日数
組　織　全　体		１０１.０時間	８月	３．２日
事務局職員	総合福祉管理室	９７.１時間	８月	２．８日
施設職員	地域生活支援室	２.１時間	１０月	０．３日
	ふれあい介護支援室	１.８時間	１０月	０．１日

(2)年次有給休暇取得率の状況

室　別 (施設長・・・ふれあい介護支援室)		取得率=取得日数/今期付与日数×100		
		正　規	非正規	合　計
組　織　全　体		６３．６％	６６．１％	６５．１％
事務局職員	総合福祉管理室	５５．５％	８３．８％	７７．５％
施設職員	地域生活支援室	６０．３％	１００％	７３．６％
	ふれあい介護支援室	６６．５％	５６．２％	５９．８％

8 職員採用及び正規転換	法人事務局において若手職員の補強と新たなリーダーの育成を図るため、長期勤続によるキャリアの形成を図る観点から、正規職員の選考試験を実施しました。 (1) 令和５年４月採用予定／事務局職員募集（受付期間　５月２３日～６月３０日） ①第一次選考試験（７月２４日）教養試験・作文試験・職場適応性・性格特性検査 ②第二次選考試験（８月２０日）面接試験 (2) 非正規介護職員を対象とした正規転換審査　申込なし (3) 新規（高等）学校卒業者対象臨時介護職員採用試験　求人なし
9 業務継続計画（BCP）の策定	自然災害や感染症拡大に伴う法人に対するリスクを軽減し、事業の継続を維持するための事業継続計画について、水害に伴う支援活動等の影響もあり策定作業が出遅れたため、災害対策編のみ策定を終えました。
10 その他	(1) 経営マネジメント・財務会計に関する指導(5月／8月／11月／2月：さくら総合会計事務所) (2) 職員の自主的な資格取得に対し助成するための基金事業　０件

■施設等に対するボランティア活動、物品寄贈等の善意

受付・活動日	区　分	氏　名・団体名	内　容
令和４年　４月　12 日	物品寄付	渡部　晃子　様（　中　）	オムツ、肌着
令和４年　５月　２日	物品寄付	多田野ひろ子様（長井市）	オムツ
令和４年　５月　11 日	物品寄付	匿名希望　様　（　中　）	タオル
令和４年　６月　８日	物品寄付	多田野ひろ子様（長井市）	オムツ
令和４年　７月　５日	物品寄付	井上　禎夫　様（高　峰）	タオル
令和４年　７月　７日	物品寄付	渡部　一夫　様（萩　生）	オムツ
令和４年　８月　５日	物品寄付	ワタキューセイモア㈱様（仙台市）	おしりふき、水
令和４年　８月　30 日	物品寄付	坂本　美知子様（　椿　）	シャンプー　６本
令和４年 11 月　２日	物品寄付	粕川　ケイ子様（萩　生）	タオル(30)
令和４年 11 月　11 日	物品寄贈	長沼　はる　様（　椿　）	CD・カラオケセット
令和４年 12 月　５日	物品寄付	鈴木　　忠 様（高　峰）	女性用下着、タオル
令和４年 12 月　18 日	ボランティア	特定非営利活動法人ほっとの皆様	年賀状作成
令和４年 12 月　22 日	物品寄贈	下椿いきいきクラブの皆様	門松
令和４年 12 月　30 日	物品寄付	伊藤　文子様（添　川）	オムツ
令和４年 12 月　30 日	物品寄付	匿名希望　様（萩　生）	男性用衣類
令和５年　３月　３日	ボランティア	株式会社ダイナム様	イベント企画
令和５年　３月　17 日	ボランティア	風音（舩山泰宏）様（添　川）	施設慰問

※災害ボランティアセンターへの物品寄贈等の善意につきましては活動報告書に掲載させていただきました。

■社会福祉に関する表彰受賞関係（県段階以上）

民 生 委 員 関 係	全国社会福祉協議会会長表彰【民生委員児童委員功労者】 舟山　嘉藏 氏（小白川）　細谷　芳弘 氏（　中　）

	全国民生委員児童委員協議会長表彰【永年勤続民生委員児童委員表彰】 伊藤　佐市 氏（　椿　）　上田　　太　氏（　椿　）　舟山　嘉藏 氏（小白川） 細谷　芳弘 氏（　中　） 山形県知事社会福祉功労者感謝状【民生委員児童委員配偶者】 舟山ふみ子 氏（小白川）　細谷　幸子 氏（　中　）
老 人 福 祉 関 係	山形県知事老人福祉功労者感謝状【老人クラブの指導育成に特に貢献のあった者】 手塚　新藏 氏（黒　沢）　岡　　桂 氏（中津川） 山形県老人クラブ連合会会長表彰【老人クラブ育成指導功労者】 米野彌壽男 氏（添　川）　五十嵐重男 氏（小白川）　木村　勝男 氏（萩　生）
障がい者福祉関係	山形県知事障害者福祉功労者感謝状【役員功労】 舟山　貞夫 氏（松　原）
ボランティア関係	山形県知事社会福祉功労者表彰 特定非営利活動法人ほっと（代表　髙橋　エミ）様
社会福祉従事者（役職員）関係	全国社会福祉協議会会長表彰【社会福祉協議会・民間社会福祉団体関係功労者】 山口いづみ　（本会職員） 全国社会福祉協議会会長表彰　【社会福祉協議会・民間社会福祉団体関係功労者】 山形県・県民福祉大会会長表彰【一般社会福祉事業関係功労】 須貝　周一 氏（添　川）

9　資料編

令和 5年 3月31日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
理事・監事名簿

任期　令和3年6月24日から就任後2年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和5年4月以降に開催される定時評議員会の終結時）

理事：　定数／9名以上11名以内：現数（総数）　11名

No	職　　名	選出区分	氏　　名	性別	住　　所	当初理事就任日	親族等特殊関係にある者の有無
1	会　　長	(1)	伊　藤　榮　造	男	高峰241番地の6	平成26年 4月21日	無
2	副 会 長	(2)	菅　野　誠　一	男	中708番地	平成11年12月21日	無
3	副 会 長	(1)	髙　橋　弘　之	男	椿4486番地	令和 4年 6月24日	無
4	常務理事	(1)	伊　藤　満世子	女	岩倉459番地	令和 4年 6月24日	無
5	理　　事	(1)	竹　田　　經	女	手ノ子1407番地	平成20年 4月21日	無
6	理　　事	(1)	鈴　木　廣　志	男	椿2763番地の3	平成29年 6月15日	無
7	理　　事	(1)	髙　橋　礼　子	女	小白川815番地	平成29年 6月15日	無
8	理　　事	(2)	片　桐　天　山	男	萩生1950番地	平成28年 4月21日	無
9	理　　事	(2)	伊　藤　佐　市	男	椿246番地	令和 3年 6月24日	無
10	理　　事	(2)	伊　藤　キミ子	女	下屋地134番地4	令和元年 6月21日	無
11	理　　事	(2)	佐　藤　艶　子	女	中1732番地	平成29年 6月15日	無

【理事の選出区分】次の各号の定めるところにより選任する。
(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者　5名以上6名以内
(2) 当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者　4名以上5名以内

監事：　定数／2名：現数（総数）2名

監事選任区分	氏　　名	性別	住　　所	当初就任日	親族等特殊関係にある者の有無
財務管理について識見を有する者	須　貝　周　一	男	添川2968番の1地	H.23年12月22日	無
社会福祉事業について識見を有する者	舟　山　直　志	男	松原864番地	H.29年 6月15日	無

令和 5年 3月31日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
評議員　名簿

定数　１０名以上１５名以内　：現数（総数）１３名

任期　令和3年6月24日から就任後4年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和7年4月以降に開催される定時評議員会の終結時）

No	選出区分		氏　　名	性別	住　　所	当初就任日	親族等特殊関係にある者の有無
1	1号	中区協議会長、萩生区協議会長及び黒沢区協議会長から推薦があった者	横　山　利　一	男	黒沢2207番地	H.26年 5月30日	無
2		椿区民会長及び小白川区民会長から推薦があった者	渡　邉　忠　雄	男	小白川855番地の1	R. 3年 6月24日	無
3		東部地区地区長会長から推薦があった者	加　藤　富　夫	男	添川3209番地	H.29年 4月 1日	無
4		手ノ子区協議会長及び高峰地区協議会長から推薦があった者	原　田　直　美	女	手ノ子1331番地の4	R. 3年 6月24日	無
5		中津川むらづくり協議会長から推薦があった者	渡　部　みゑ子	女	白川430番地2	H.29年 4月 1日	無
6	2号	飯豊町民生委員児童委員協議会長から推薦があった者	上　田　　太	男	椿4440番地3	R. 3年 6月24日	無
7			山　口　明　美	女	松原901番地	H.30年 5月24日	無
8	3号	飯豊町老人クラブ連合会の代表	木　村　勝　男	男	萩生866番地の1	R. 3年 6月24日	無
9		飯豊町教育委員会の代表	熊　野　昌　昭	男	手ノ子1733番地の3	H.28年 4月10日	無
10	4号	飯豊町婦人会の代表	那　須　絹　子	女	萩生1406番地	H.26年 4月10日	無
11		人権擁護委員の代表	井　上　慶　次	男	椿341番地	H.28年 4月10日	無
12		学識経験を有する者	鈴　木　好　洋	男	高峰50番地の1	R. 3年 6月24日	無
13			土　屋　　淳	男	中1899番地	R. 3年 6月24日	無

【選出区分の解説】評議員・役員選任規程により定数設定

第１号	住民自治組織の団体	５名
第２号	民生委員児童委員協議会	１名以上２名以内
第３号	公私社会福祉保健衛生施設及び団体並びに社会福祉関係行政機関	２名以上３名以内
第４号	住民福祉活動の奉仕者又はその代表者並びに学識経験者	２名以上５名以内

令和4年度居宅介護等（ホームヘルプ）事業実績報告書

1、要介護度別利用者数

訪問介護ステーション福祉の里めざみ

①年間新規契約件数：18件/契約解除数：16件　　②R5.3現在契約者数：23名※予防含

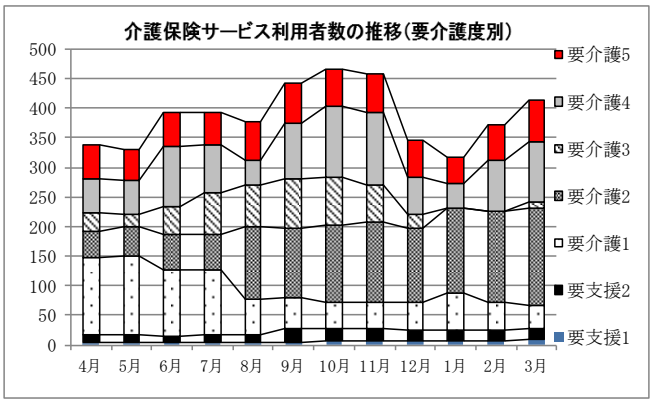
月区別	利用者実人数	総合事業		介護保険給付					合計（回）	給付時間（時間／分）	1回あたり給付時間	給付時間前年対比
		要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
4月	19	4	13	131	45	30	58	57	338	190時間54分	0:33:53	4時間20分
5月	21	4	14	131	51	20	59	52	331	191時間04分	0:34:38	30時間09分
6月	21	5	10	113	59	47	102	57	393	226時間27分	0:34:34	55時間13分
7月	22	4	13	110	61	68	82	55	393	224時間57分	0:34:21	62時間50分
8月	19	3	14	61	122	69	43	66	378	219時間42分	0:34:52	43時間22分
9月	22	5	22	53	117	84	93	68	442	250時間40分	0:34:02	63時間15分
10月	24	7	20	44	132	79	120	64	466	262時間14分	0:33:46	98時間22分
11月	24	8	21	44	134	64	123	65	459	260時間21分	0:34:02	97時間58分
12月	24	8	18	47	125	23	62	63	346	205時間44分	0:35:41	44時間50分
1月	22	7	17	64	144	0	41	44	317	185時間53分	0:35:11	34時間09分
2月	22	8	16	48	154	0	86	60	372	215時間21分	0:34:44	68時間32分
3月	23	10	17	41	162	12	102	69	413	238時間41分	0:34:41	44時間23分
合計	**263**	**73**	**195**	**887**	**1,306**	**496**	**971**	**720**	**4,648**	2671時間58分	0:34:30（前年35:16）	647時間23分
構成割合		1.6%	4.2%	19.1%	28.1%	10.7%	20.9%	15.5%	100%			

（注）給付時間=　総合事業給付＋介護保険給付

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和4年度	2.80	令和3年度	2.85



2、障がい福祉サービス利用実績【居宅介護、重度訪問】

①対象者：7名（R5.3現在）　　②家事　270時間30分　③身体　798時間30分

月区別	利用実数	サービス提供回数											
		家事援助（時間）		身体介助（時間）※・・・提供体制 2人									合計
		0.5	1.0	0.5	0.5※	1.0	1.0※	1.5	1.5※	夜0.5	夜1.0	夜1.5	
4月	7	18	14	24	2	19	5	1	1	0	0	0	84
5月	7	18	13	21	0	18	4	1	1	1	0	0	77
6月	8	21	12	47	0	19	3	1	1	0	2	0	106
7月	8	19	14	54	0	12	3	2	2	0	0	4	110
8月	8	19	12	60	0	13	5	0	0	0	0	5	114
9月	8	19	14	56	0	13	6	0	0	0	1	3	112
10月	7	19	12	36	0	9	5	0	0	0	0	5	86
11月	8	19	13	39	0	10	5	0	0	0	1	3	90
12月	8	19	13	37	0	10	5	0	0	0	0	4	88
1月	7	19	13	38	0	8	4	0	0	0	0	5	87
2月	7	18	12	36	0	9	5	0	0	0	0	4	84
3月	8	21	14	44	0	8	5	2	0	0	0	4	98
合計	**91**	**229**	**156**	**492**	**2**	**148**	**55**	**7**	**5**	**1**	**4**	**37**	**1136**
構成割合		20.2%	13.7%	43.3%	0.2%	13.0%	4.8%	0.6%	0.4%	0.1%	0.4%	3.3%	100%

3、安心生きがい訪問事業支援実績【町受託】

①対象者28名(R5.3現在)

②延べ支援件数384件

月区別	件数	備考
4月	33	再開１
5月	33	新規１　中止1
6月	33	変更なし
7月	34	新規１
8月	35	新規2　中止1
9月	34	中止１
10月	33	中止１
11月	32	中止１
12月	32	変更なし
1月	29	休止１入所2
2月	28	休止1
3月	28	新規1再開1中止2

（注）定期訪問　１件につき月２回
お元気コール１件につき月２回

4、訪問自費介護サービス事業実績（保険外サービス）

①延べ提供回数106回　②延べ提供時間数170時間30分

月区別	回数（人）	提供時間	月区別	回数（人）	提供時間	月区別	回数（人）	提供時間	月区別	回数（人）	提供時間
4月	7（6）	10:45:00	7月	5（5）	9:00:00	10月	10（6）	12:45:00	1月	7（6）	11:45:00
5月	9（5）	16:15:00	8月	10（6）	16:00:00	11月	9（8）	14:00:00	2月	8（6）	15:15:00
6月	12（7）	20:00:00	9月	12（8）	20:45:00	12月	12（9）	20:45:00	3月	5（5）	11:15:00

令和4年度通所介護（デイサービス）事業実績報告書

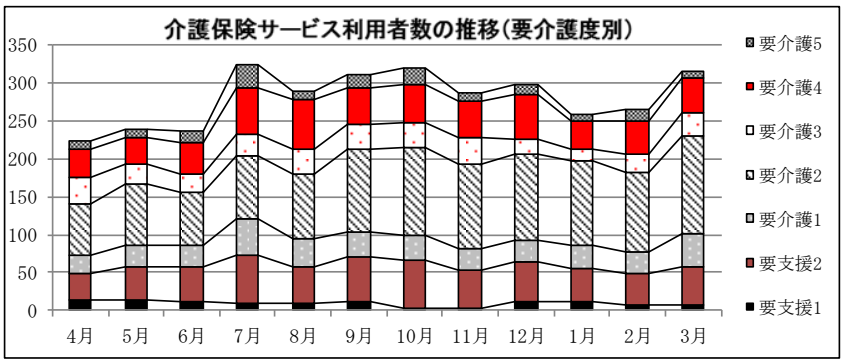
1、地域密着型通所介護・通所型サービス要介護度別利用者数

日帰り介護センター福祉の里めざみ

①年間新規契約件数：420件　／契約解除数：30件　②R5.3月現在契約者数：　53名

月区別	営業日数（A）	利用者実人数（B）	総合事業（月額）		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×18名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価			16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080				
4月	22	40	14	35	23	68	36	36	12	224	396	56.6%	-7.7%
5月	22	39	13	44	29	80	27	36	11	240	396	60.6%	-2.6%
6月	21	41	12	46	28	70	25	41	15	237	378	62.7%	1.4%
7月	27	48	9	64	47	83	29	61	31	324	486	66.7%	8.5%
8月	26	44	10	48	36	85	34	65	11	289	468	61.8%	4.3%
9月	26	49	11	60	32	109	33	48	19	312	468	66.7%	1.6%
10月	27	45	3	64	33	115	32	52	21	320	486	65.8%	0.6%
11月	25	42	4	49	29	112	35	47	10	286	450	63.6%	3.2%
12月	27	47	11	53	29	114	18	60	13	298	486	61.3%	5.5%
1月	24	40	12	44	31	110	16	37	9	259	432	60.0%	3.9%
2月	24	39	8	41	28	105	24	43	16	265	432	61.3%	7.4%
3月	26	42	8	50	43	129	30	46	10	316	468	67.5%	11.2%
合計	**297**	**516**	**115**	**598**	**388**	**1180**	**339**	**572**	**178**	**3,370**	**5,346**	**63.0%**	**3.1%**
構成割合			3.4%	17.7%	11.5%	35.0%	10.1%	17.0%	5.3%	100%			

（注1）営業日数=休日：水曜日及び年始1～3日



【利用者の平均介護度の推移】

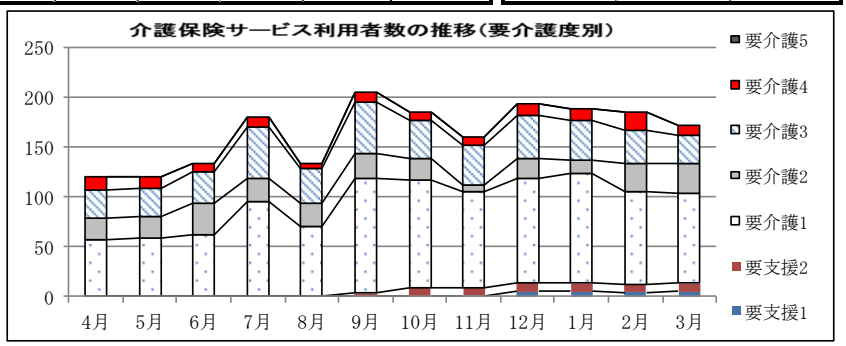
（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５〈要支援1＝0.375/要支援2＝1〉を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和４年度	2.10
令和３年度	2.00

2、認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：22件　／契約解除数：12件　②R5.3現在契約者数：21名

月区別	営業日数（A）	利用者実人数（B）	介護予防		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×12名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価			8,590	9,590	9,920	11,000	12,080	13,160	14,240				
4月	22	19	0	0	57	22	28	13	0	120	264	45.5%	-9.3%
5月	22	19	0	0	59	21	29	11	0	120	264	45.5%	-4.8%
6月	21	20	0	0	61	32	32	9	0	134	252	53.2%	0.0%
7月	27	20	0	0	95	23	52	9	0	179	324	55.2%	0.9%
8月	26	21	0	0	70	23	35	6	0	134	312	42.9%	-14.8%
9月	26	24	0	3	116	24	52	9	0	204	312	65.4%	-0.5%
10月	27	21	0	9	107	22	39	8	0	185	324	57.1%	-20.9%
11月	25	19	1	8	96	6	40	8	0	159	300	53.0%	-19.3%
12月	27	24	5	9	105	20	42	12	0	193	324	59.6%	-0.6%
1月	24	25	5	8	111	13	39	12	0	188	288	65.3%	14.5%
2月	24	22	4	8	93	28	33	19	0	185	288	64.2%	17.5%
3月	26	21	5	8	91	30	28	10	0	172	312	55.1%	9.6%
合計	**297**	**255**	**20**	**53**	**1,061**	**264**	**449**	**126**	**0**	**1,973**	**3,564**	**55.4%**	**-1.9%**
構成割合			1.0%	2.7%	53.8%	13.4%	22.8%	6.4%	0.0%	100%			



【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５〈要支援1＝0.375/要支援2＝1〉を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和４年度	1.80
令和３年度	1.70

3、令和4年度宿泊サポート（日中サポート）事業実績報告書

①宿泊サービス　R5.3実利用者数：14名※予防含　②日中サポート　R5.3実利用者数：3名※予防含

月区別	実利用者数	延利用者数	稼働日数	備考(日中サポート延べ人数・稼働日)	
7月	20	66	22	4	3
8月	15	50	24	9	5
9月	18	48	20	1	1
10月	16	53	20	2	2
11月	16	56	18	2	2
12月	15	46	17	1	1
1月	14	36	13	1	1
2月	12	43	15	1	1
3月	14	37	12	3	3
合計	140	435	161	24	19

令和4年度短期入所生活介護（ショートステイ）事業実績報告書

短期入所生活介護センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

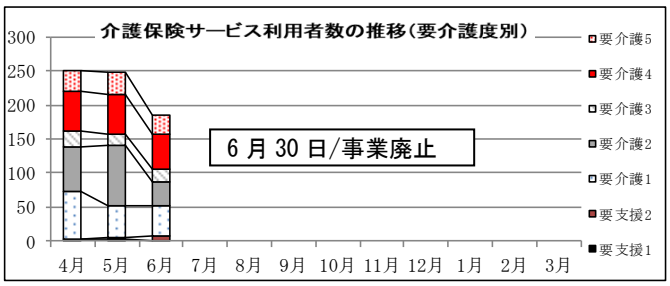
①R5.3現在契約者数：0名※予防含

月区別	介護予防		介護保険					合計(日)	月定員（日数×20名）	当年度利用率	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価	5,550	6,740	7,380	8,060	8,810	9,490	10,170				
4月	3	0	69	66	23	58	31	250	600	41.7%	41.7%
5月	3	2	46	90	15	60	33	249	620	40.2%	40.2%
6月	0	8	43	27	20	58	28	184	600	30.7%	30.7%
合計	6	10	158	183	58	176	92	683	1,820	37.5%	-11.7%
構成割合	0.9%	1.5%	23.1%	26.8%	8.5%	25.8%	13.5%	100.0%			

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に1～5（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和4年度	2.70	令和3年度	2.40



2、在宅老人短期入所施設利用弾力化事業【町受託】

利用実績なし

3、障がい福祉サービス利用実績【短期入所】

月区別	対象	延利用
4月	1	7
5月	1	6
6月	1	4

①対象者1名　②年間延べ利用日数17日

4、日中一時支援事業利用実績

月区別	対象	延利用	月区別	対象	延利用
4月	2	40	10月	2	39
5月	2	37	11月	2	39
6月	2	43	12月	2	39
7月	2	38	1月	2	38
8月	2	29	2月	2	37
9月	2	40	3月	2	42

①対象者2名　②年間延べ利用日数455日

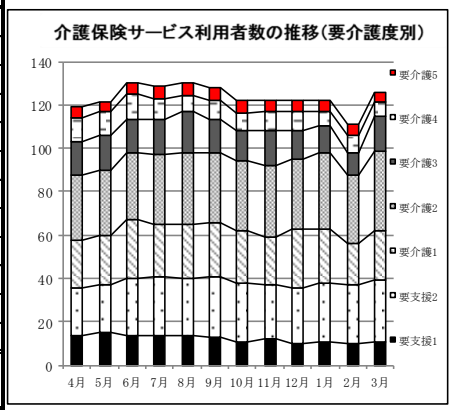
令和4年度居宅介護支援（ケアマネジメント）事業実績報告書

在宅介護支援センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：63件　　②R5.3現在契約者数:86名※予防除

月区別	介護予防【受託】		介護保険					合計(件)※予防除	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5		
報酬単価	10,760		13,850		17,070				
4月	14	22	22	30	15	11	5	83	10
5月	15	22	23	30	16	11	4	84	9
6月	14	26	27	31	15	12	5	90	14
7月	14	27	24	32	16	10	6	88	11
8月	14	26	25	33	19	7	6	90	18
9月	13	28	25	32	15	9	6	87	11
10月	11	27	24	32	14	8	6	84	9
11月	12	25	22	33	16	9	5	85	7
12月	10	26	27	32	13	9	5	86	14
1月	11	27	25	32	12	7	5	81	10
2月	10	27	19	32	10	8	6	75	11
3月	11	28	23	36	16	6	5	86	10
合計	149	311	286	385	177	107	64	1,019	134
構成割合			28.1%	37.8%	17.4%	10.5%	6.3%	100.0%	



（注1）報酬単価＝特定事業所加算Ⅲ3,090円を含む。
（注2）初回加算別途（3,000円別途）　住宅改修支援業務を行った場合（2,000円別途）

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を除く各介護度の延べ人数に1～5を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

令和4年度	2.29	令和3年度	1.80

令和4年度飯豊町デマンド交通事業　運行実績報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

① 利用状況総括表

月別	利用者計	稼働日	1日あたり平均	内 町内利用	内 町外利用
R4年 4月	714人	20日	35.7人	12.6人	23.0人
R4年 5月	641人	19日	33.7人	12.1人	21.5人
R4年 6月	705人	22日	32.0人	10.9人	21.0人
R4年 7月	695人	20日	34.8人	11.2人	20.7人
R4年 8月※	687人	17日	40.4人	15.5人	24.8人
R4年 9月	732人	20日	36.6人	13.3人	23.2人
R4年 10月	687人	20日	34.4人	12.5人	21.8人
R4年 11月	743人	20日	37.2人	13.8人	23.3人
R4年 12月	786人	20日	39.3人	15.4人	23.8人
R5年 1月	644人	17日	37.9人	14.5人	23.3人
R5年 2月	671人	19日	35.3人	13.6人	21.6人
R5年 3月	747人	22日	34.0人	12.5人	21.8人
合　計	8,452人	236日	35.9人	13.2人	22.5人
（前年比）	-931人	-2日	-3.5人	0.6人	-4.3人
利用者構成（全体に占める割合）				36.6%	62.6%

※大雨被害による道路状況の安全確保のため３日間運休（8月4日.5日.8日）

②月別年間記録

	平均利用者数	記録月	（前年度）
月別最高平均利用者数	40.4	8月	3月
月別最低平均利用者数	32.0	6月	1月

③日別年間記録

利用者数		記録日
日別最高利用者数	60人	3月26日
日別最低利用者数	17人	7月17日

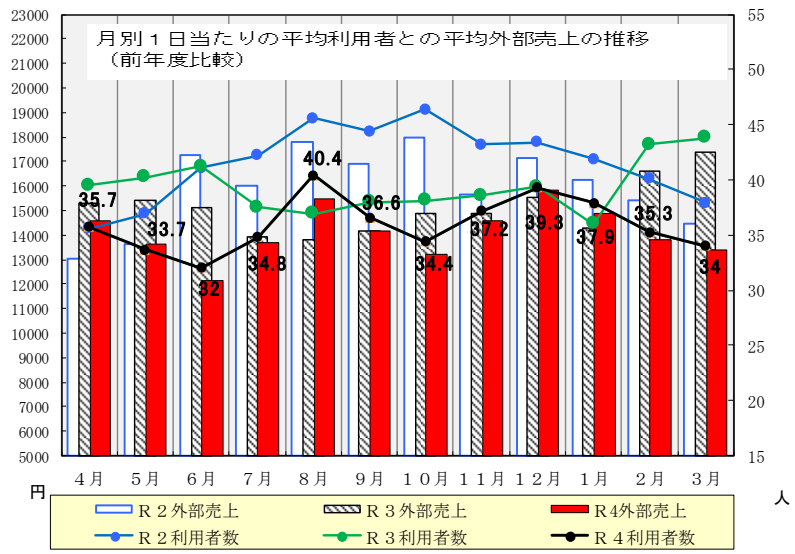
④曜日別平均利用人数

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
35.3人	37.1人	36.1人	27.0人	40.7人
-3.8人	-4.0人	-4.9人	-5.3人	-6.0人

⑤利用者の構成

	一般	小学生以下	福祉割引	合計
町内400円区	2,096人	5人	920人	3,021人
町内600円区	49人	0人	0人	49人
町外	2,395人	10人	2,977人	5,382人
合計	4,540人	15人	3,897人	8,452人
（前年比）	172人	-9人	-1,094人	-931人

※　［中津川⇔長井市］間利用時の表記方法
①乗換利用→町内(400円区)＋町外　　②直行パターン→町外



⑥利用施設別　降車ランキング

順	降車場所区分	人数	前年比
1	公立置賜総合病院（周辺薬局含）	680	208
2	羽前椿駅	536	-31
3	長井駅	401	-180
4	飯豊町国民健康保険診療所	243	-48
5	公立置賜長井病院	205	-28
6	さゆり内科クリニック	191	ランク外
7	松下クリニック	155	-211
8	SHINセルカ	130	-22
9	ツルハ飯豊店	118	26
10	ヨークベニマル長井小出店	109	ランク外

⑦利用施設別　乗車ランキング

順	乗車場所区分	人数	前年比
1	長井駅	866	350
2	公立置賜総合病院（周辺薬局含）	662	112
3	ヤマザワ長井店	251	-34
4	飯豊町国民保険診療所	227	-24
5	SHINセルカ	159	9
6	松下クリニック	150	-135
7	ヨークベニマル長井小出店	148	7
8	公立置賜長井病院	133	-494
9	さゆり内科クリニック	132	ランク外
10	ツルハ飯豊店	117	ランク外

⑧登録者数　　3,704 人

大字名	登録者数	大字名	登録者数
中	481	松原	91
萩生	772	添川	412
黒沢	278	手ノ子	298
椿	557	高峰	252
小白川	315	中津川	248